



令和4年度 新潟県立図書館年報



目 次

目次	
I 令和4年度 新潟県立図書館の運営基本方針	1
II 新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）	2
III 令和3年度の取組概況	3
IV 管理	6
1 組織・機構	6
2 事業別予算	8
3 図書館関係費年度別執行状況（最終予算）	8
V 資料受入状況	9
1 資料費執行明細表	9
2 分類別図書等点数	9
3 受入種類別図書等点数	10
4 雑誌・新聞・法規・追録（継続中）タイトル数	10
5 製本作業の状況	10
6 資料購入状況	10
VI 利用状況	11
1 月別利用数	11
2 分類別利用数（貸出冊数）	13
3 年齢別利用数	13
4 遠隔地返却サービス利用数	14
5 障害者サービス利用数	15
6 団体貸出サービス利用数	15
7 レファレンス件数	16
8 館内で利用可能なデータベース一覧	16
VII 協力業務	17
1 資料の貸借状況	17
2 レファレンス状況	17
3 訪問事業の件数	17
4 関係団体一覧	18
5 「新潟県図書館等情報ネットワーク」推進状況	18
6 新潟県内小規模図書館等セット図書長期一括貸出	19
VIII この10年の推移	20
1 資料	20
2 利用	20
3 協力業務	20
IX 令和3年度 事業	21
1 行事	21
2 ギャラリー展示	22
3 閲覧室内展示	23
4 主要刊行物	23
5 オリジナルデータベース	24
6 見学・視察等受入状況	24
7 新潟県立図書館ボランティア	24
X 令和3年度 研修・会議等	25
1 研修	25
2 会議	25
3 新潟県図書館協会事業	25
4 新潟県読書推進運動協議会事業	25
5 新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会事業	25
XI 県立図書館の沿革	26
XII 令和3年度の主な出来事	28
XIII 施設等の概要	29
1 施設	29
2 コンピュータ	30
参考資料	
新潟県立図書館規則	31
令和3年度新潟県立図書館運営基本指針行動計画に係る評価	33

I 令和4年度 新潟県立図書館の運営基本方針

令和4年度の新潟県立図書館の運営は、「新潟県立図書館 運営基本指針 令和3年度～5年度」に基づき、3年間の2年目として以下のとおり取り組む。

1 地域社会への貢献

令和3年度に開始した県行政との連携や、郷土資料の収集等について、継続して取り組んでいく。

(1) 県の行政施策と連携した取組

昨年度開始した、県の行政施策を県民に広報する展示等に継続して取り組む。

(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

郷土資料について、より広く情報を把握し資料の収集につなげていく。また、リニューアルした「越後佐渡デジタルライブラリー」について調整を進めると共に、データ入力の進んでいる「郷土人物/雑誌記事索引データベース」について、活用促進に向けて広報に取り組む。

2 県内図書館への貢献

県内の市町村図書館、県立高等学校図書館等の活動の支援に継続して取り組み、県内図書館全体のレベルアップにつなげる。

(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援

県内図書館等のニーズを把握するとともに、セット図書を活用して協力貸出を進めるほか、県立高等学校へのサービス向上に取り組む。

(2) 県内図書館等職員の人材育成

階層別研修、訪問研修など各種研修を、市町村立図書館等の要望を取り入れて充実させるとともに、オンライン研修も活用しながら、より多くの図書館等職員が参加できるよう努める。

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

読書環境を整え、県民の学び続ける意欲を支援するとともに、図書館サービスを支える県立図書館職員の能力育成に取り組む。

(1) 県民の読書環境の整備

利用者の利便性向上に向けた運用の改善と、読書に困難のある方へのサービスの充実に継続して取り組む。

(2) 県立図書館職員の能力の育成

多様な研修の受講機会を設けるとともに、職員間で成果を共有する機会を増やすなどして、職員全体の能力のレベルアップを図る。

II 新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）

1 地域社会への貢献

地域に向き合い、「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現を支えます。

○県の行政施策と連携した取組

- ・県の行政施策をテーマとした展示の開催
- ・県の重点施策と関連した図書コーナーの設置
- ・県作成のポスター、パンフレット等の掲示・配布

○文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

- ・郷土資料の積極的収集・保存
- ・越後佐渡デジタルライブラリーの充実
- ・郷土人物／雑誌記事索引D Bの充実

2 県内図書館への貢献

県内図書館相互で顔が見える関係づくりをし、図書館サービスの向上に取り組みます。

○県内図書館等が実施するサービスへの支援

- ・県内図書館等の貸出サービスへの支援
- ・県内図書館等への訪問事業

○県内図書館等職員の人材育成

- ・県内図書館等職員対象の各種研修の開催

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

誰もが尊重される共生社会の実現を目指して、県民一人ひとりの「知りたい・読みたい」を応援します。

○県民の読書環境の整備

- ・読書が困難な県民のための利用環境整備
- ・子どもや若い世代向けの読書推進の取組

○県立図書館職員の能力の育成

- ・県立図書館職員の幅広い分野の研修、セミナー等への派遣

III 令和3年度の取組概況

令和3年度の運営は、「新潟県立図書館 運営基本指針 令和3年度～令和5年度」に基づき、新たな目標をベースにより充実した図書館サービスを目指して取り組んだ。

一方、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、昨年度と同じく閲覧室への入室休止などの対策を行う期間もあった。館内の消毒徹底や対面サービス・館内機器の利用時間の制限など、感染拡大防止を図りながらの運営により、貸出冊数や利用者数は昨年度の落ち込みからやや持ち直した形となった。

1 地域社会への貢献

より地域社会に貢献できる図書館となることを目標とし、県行政との連携を深めた展示や県民共有の文化資産である郷土資料の収集などの取組に力を入れた。

(1) 県の行政施策と連携した取組

県の行政施策への県民の理解を深めるため、担当部局と連携してギャラリー展示及び関連図書展示を行うなど、行政課題の解決に貢献する取組に力を入れた。また、県庁各所属を対象とした「県庁貸出」については、チラシの作成・配布や定期的な県職員専用ポータルを通じた広報を行った。

(2) 文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用

郷土資料の出版情報を把握し、より多くの収集を目指した。併せて、ホームページで提供しているオリジナルデータベース「越後佐渡デジタルライブラリー」や「郷土人物／雑誌記事索引データベース」のコンテンツを充実させSNS等で情報を発信するなど、利用促進のための取組を進めた。また、「越後佐渡デジタルライブラリー」はサイト全体をリニューアルし、利便性の向上を図った。

2 県内図書館への貢献

県立図書館の使命の一つである県内の市町村図書館・公民館図書室、県立高等学校図書館等を支援する取組に力を入れた。

(1) 県内図書館等が実施するサービスへの支援

県内図書館等のニーズを把握しながら協力貸出を進めたほか、積極的に市町村を訪問し、お互いに顔の見える関係の構築を目指した。また、県立高等学校図書館への支援として、市町村立図書館の窓口を通じた貸出サービス体制を確立するなど、協力貸出事業の改善に努めた。

(2) 県内図書館等職員の人材育成

新型コロナウイルスの感染が収束しない状況下で、階層別研修や研究集会にオンライン形式も取り入れ、より多くに参加してもらえるよう取り組んだ。また、新潟県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を新たに開始するとともに、レファレンス研修のプログラムを目的毎に再編成し、研修内容の多様化を図るなどの改善に取り組んだ。

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

県民の読書環境を整え、生涯にわたって学び続ける意欲を支援するとともに、研修の充実により図書館サービスを支える職員の能力育成を図った。

(1) 県民の読書環境の整備

・ 県民への読書機会の提供

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、緊急事態宣言による臨時休館期間は、予約資料の貸出をエントランスホールで実施することで、県民の図書館利用の機会の確保に努めた。また、9月から県立図書館公式Twitterを開始し、新たな情報発信に取り組んだ。

・ 読書に困難のある県民へのサービスの充実

活字による読書が困難な子どもたちをサポートするため、児童向けの大活字本やLLブック（※1）、点字付き絵本を備えた読書バリアフリーコーナーを新設した。ギャラリーでは「見て、聴いて、楽しむ！バリアフリー読書」展示を実施し、新コーナーの紹介や障害者サービスの案内を行った。また、市町村図書館職員向けの障害者サービス研修でサピエ活用の呼びかけを行うなどして、県内図書館全体がバリ

アフリ一読書のレベルを高められるよう取り組んだ。新潟県視覚障害者情報センターとも連携協力し、相互PRや音訳協力者の研修等を実施した。

・こどもや若い世代の読書推進

新型コロナウイルス感染拡大防止のために休止していた「こども図書室」を、壁に扇風機を設置し、入替え制で入室する方法で令和3年10月から開室した。

(※1 LLブック：やさしい日本語を使い、ピクトグラム（動作などを表した絵）や写真を使ってわかりやすく書かれた本のこと。長い文章を読むのが苦手と感じている方、日本語が得意でない方や、知的障害のある方にも読みやすいよう工夫されている。)

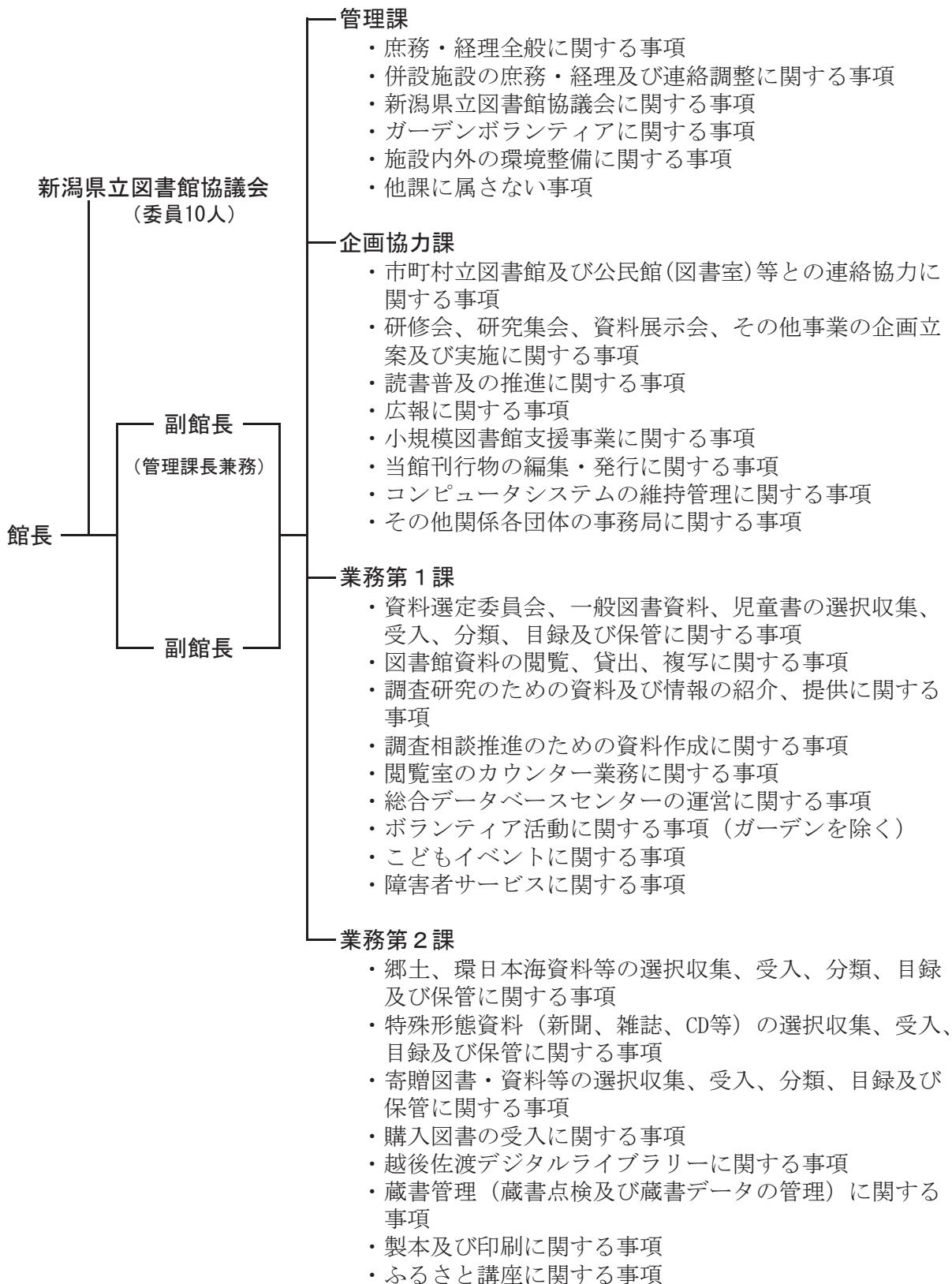
(2) 県立図書館職員の能力の育成

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、様々な研修会・会議等がオンラインで開催された。これを受け、職員に積極的な受講等を促した結果、職員一人当たりの平均参加回数が増加した。また、蔵書点検による休館期間中（6月）と仕事始め（1月）に全体研修会を開催し、職員の能力向上に努めた。

IV 管理

1 組織・機構

(1) 新潟県立図書館組織図（令和4年4月1日現在）



(2) 職員構成（令和4年4月1日現在）

区分 課名	管理課		企画協力課		業務第1課		業務第2課		計	
	司書	事務職等	司書	事務職等	司書	事務職等	司書	事務職等	司書	合計
正規		5	4		9		6	1	19	6 25
臨時					3	6	1		4	6 10
計	0	5	4	0	12	6	7	1	23	12 35

*このほかに平日（17～19時）及び土日曜・祝日は閲覧カウンター業務委託 4～5名

(3) 新潟県立図書館協議会（令和4年3月31日現在）

ア 協議会委員（任期 令和2年8月1日～令和4年7月31日）

氏 名 (五十音順)	所 属 ・ 職 名
朝 日 仁 美	公募
猪 俣 清 子	社会福祉法人愛稚会 翠松保育園 園長
◎荻 原 幸 子	専修大学経営学部 教授
小 島 秀 雄	新潟大学附属図書館 館長 新潟大学理学部 教授
斎 藤 義 樹	新潟県視覚障害者情報センター センター長
高 橋 郁 丸	漫画家
鶴 田 邦 子	公募
西 條 正 人	新潟県学校図書館協議会 理事
○吉 田 英津子	新潟市立中央図書館 館長
渡 辺 剛	新潟県高等学校図書館協議会 理事

◎委員長 ○副委員長

イ 令和3年度協議会開催状況

(ア) 第1回（令和3年10月5日開催）

- 1 令和2年度新潟県立図書館運営に対する評価(報告)について
- 2 令和3～5年度新潟県立図書館運営基本指針と行動計画の進捗状況について

(イ) 第2回（令和4年3月23日開催）

- 1 令和3年度新潟県立図書館運営に対する評価(案)について
- 2 令和4年度新潟県立図書館の運営基本方針（案）について

2 事業別予算

(単位：千円)

事業項目	令和4年度当初予算(案)額(A)	令和3年度当初予算額(B)	予算の増減額(A)-(B)
図書館費資料購入費	資料購入費	26,803	27,343 △ 540
	その他の資料費	4,910	4,370 540
	小計	31,713	31,713 0
職員費	170,586	189,613	△ 19,027
図書館運営費	16,972	17,520	△ 548
審議会開催費	257	252	5
維持管理費	106,832	106,832	0
図書館資料等複写費	3,489	3,506	△ 17
県立図書館職員研修費	124	122	2
環日本海図書館交流費	81	81	0
図書館情報化推進費	427	427	0
図書館等施設維持補修費	3,310	3,032	278
図書館国際化推進費	40	40	0
図書館ルネサンス事業費	505	501	4
県立図書館広域サービス充実事業	1,891	2,622	△ 731
関東・甲信越静地区図書館地区別研修会	0	753	△ 753
県立図書館等改修費	88,297	32,965	55,332
合計	(253,938) 424,524	(200,366) 389,979	53,572 34,545

* () 内は職員費を除いた金額

3 図書館関係費年度別執行状況（最終予算）

(単位：千円)

年度	図書館費 (うち資料購入費)
20	227,600 (50,000)
21	232,332 (53,000)
22	226,774 (59,000)
23	206,770 (51,635)
24	204,792 (51,956)
25	199,634 (52,000)
26	207,612 (52,053)
27	208,887 (52,053)
28	305,218 (52,053)
29	399,152 (52,053)
30	302,389 (56,004)
元	200,691 (45,500)
2	216,674 (38,968)
3	206,478 (38,713)

V 資料受入状況

1 資料費執行明細表（令和3年度）

種 別		金 額 (円)	合 計
資 料 書	一般 資 料	24,268,353	6,560 冊
	郷 土 資 料	2,040,376	668 冊
	日 本 海 資 料	458,366	138 冊
	児 童 資 料	1,321,616	687 冊
	小 計	28,088,711	8,053 冊
購 入 費	音 声 ・ 映 像 資 料	145,244	39 点
	マイクロフィルム	311,685	31 点
	地図	132,883	149 枚
	新 聞 ・ 雜 誌	4,941,341	379 種
	追 錄	656,682	3 種
	そ の 他	8,480	3 点
	小規模図書館支援用資料	564,261	201 冊
合 計		34,849,287	

※補充用を含む

2 分類別図書等点数

(雑誌・新聞を除いた点数　ただし製本したものは図書扱い)

分 類 区 分	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計	うち 外国語
	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学		
令和2年度末 蔵書冊数	101,226	46,110	121,428	217,235	70,262	68,510	58,798	83,361	14,706	156,152	937,788	9,588
受 入	一般	350	321	836	1,603	629	640	407	766	169	1,824	7,545
	郷土	199	56	835	1,376	176	464	384	457	18	442	4,407
	日本海	2	0	20	117	1	4	11	2	0	0	157
	児童	29	4	8	16	63	33	16	299	4	219	691
	図書計	580	381	1,699	3,112	869	1,141	818	1,524	191	2,485	12,800
	AV資料	0	0	0	0	0	0	0	39	0	0	39
	合計	580	381	1,699	3,112	869	1,141	818	1,563	191	2,485	12,839
令 和 3 年 度 末	一般	8	3	1	19	8	9	4	24	2	14	92
	郷土	0	0	9	0	0	0	5	0	0	0	14
	日本海	0	0	2	2	0	0	0	0	0	0	4
	児童	0	0	0	0	8	4	0	21	0	2	35
	図書計	8	3	12	21	16	13	9	45	2	16	145
	AV資料	0	0	0	0	0	0	0	34	0	0	34
	合計	8	3	12	21	16	13	9	79	2	16	179
蔵 書 冊 数	一般	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	739,356
	郷土	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	137,049
	日本海	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15,708
	児童	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	52,829
	図書計	101,798	46,486	123,115	220,326	71,115	69,638	59,607	79,775	14,889	158,193	944,942
	AV資料	0	2	0	0	0	0	0	5,070	6	428	5,506
	合計	101,798	46,488	123,115	220,326	71,115	69,638	59,607	84,845	14,895	158,621	950,448

3 受入種類別図書等点数(令和3年度)

区分 受入別	購入	寄贈	編入	その他	計
図書	8,053	4,416	331	0	12,800
音声・映像資料	39	0	0	0	39
計	8,092	4,416	331	0	12,839

4 雑誌・新聞・法規・追録(継続中) タイトル数(令和3年度)

区分 受入別	雑誌	新聞	法規・追録	計
購入	352	24	3	379
寄贈	1,048	19	1	1,068
計	1,400	43	4	1,447

5 製本作業の状況

区分	館内	外注
製本冊数 2年度	308	233
3年度	287	207

6 資料購入状況

年 度	図書資料購入状況						参考		す る行 購点 入数 比に 率対	
	図書			音声・ 映像資料 (金額)	新聞雑誌 及び追録等 (金額)	計 (金額)	対前 年度比	新刊書籍 発行点数		
	冊数	金額	平均単価							
20	14,947	37,235,024	2,491	1,742,548	6,937,552	45,915,124	82.9	79,917	18.7	
21	18,120	38,208,556	2,109	3,844,237	7,568,157	49,620,950	108.1	80,776	22.4	
22	19,226	45,593,044	2,371	1,942,983	8,110,507	55,646,534	112.1	78,354	24.5	
23	14,273	37,383,547	2,619	1,025,530	7,493,634	45,902,711	82.5	78,902	18.1	
24	12,855	37,011,633	2,879	1,118,924	7,108,286	45,238,843	98.6	82,204	15.6	
25	14,264	36,372,502	2,550	1,540,513	6,892,743	44,805,758	99.0	82,589	17.3	
26	15,524	37,430,156	2,411	1,423,395	6,528,876	45,382,427	101.2	80,954	19.2	
27	16,264	38,396,790	2,361	1,468,222	6,422,631	46,287,643	102.0	80,048	20.3	
28	15,093	38,539,516	2,553	1,393,595	6,499,310	46,432,421	100.3	78,113	19.3	
29	15,148	39,039,580	2,577	1,349,588	6,420,426	46,809,594	100.8	75,412	20.1	
30	15,407	41,850,678	2,716	1,362,452	6,585,175	49,798,305	106.4	71,661	21.5	
元	11,108	29,104,172	2,620	636,854	6,532,455	36,273,481	72.8	71,903	15.4	
2	9,802	30,163,019	3,077	109,899	5,755,359	36,028,277	99.3	68,608	14.3	
3	8,053	28,088,711	3,488	145,244	5,598,023	33,831,978	93.9	69,052	11.7	

※「新刊書籍発行点数」は、29年度値までは『出版年鑑』、30年度値からは『出版指標年報』による。

VI 利用状況

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年4月1日～5月18日、令和3年9月)

1 月別利用数 ※令和2年4月・5月及び令和3年9月の開館日数及び入館者数は、エントランスで予約資料の貸

区分			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月			
開館日数	3年度	26	27	20	27	27	27	27	27			
	2年度	17	18	25	27	27	27	27	27			
入館者数	総数		3年度	26,232	29,083	21,903	28,658	30,463	18,112	26,290		
	内訳		2年度	6,819	9,907	20,350	26,790	31,087	29,965	27,428		
	閲覧室	3年度	26,211	29,051	21,853	28,638	30,463	18,112	26,245			
		2年度	6,819	9,907	20,350	26,790	31,087	29,933	27,376			
	行事	3年度	21	32	50	20	0	0	45			
		2年度	0	0	0	0	0	32	52			
登録者数			3年度	357	377	228	346	376	186	294		
			2年度	24	217	301	358	410	293	269		
貸出人数			3年度	13,859	14,636	10,936	14,125	14,258	9,994	14,345		
			2年度	1,778	4,506	8,062	13,762	14,103	13,568	14,078		
貸出冊数	図書・雑誌	一般	3年度	30,739	32,183	24,048	30,344	30,977	22,900	30,612		
		郷土		1,034	1,168	977	1,183	1,122	817	1,224		
		日本海		189	195	116	201	149	96	221		
		児童		7,100	7,144	5,044	7,116	7,497	4,236	6,724		
		計		39,062	40,690	30,185	38,844	39,745	28,049	38,781		
	AV資料		3年度	2,318	2,228	1,772	2,093	1,918	1,513	2,158		
	総計		3年度	41,380	42,918	31,957	40,937	41,663	29,562	40,939		
			2年度	5,038	15,793	25,726	40,151	41,749	39,309	41,048		
予約件数			3年度	3,083	3,463	3,093	3,135	3,061	4,059	3,384		
			2年度	3,977	5,574	3,310	3,760	3,477	3,269	3,277		
レフアレンス件数	口頭		3年度	1,008	1,094	949	1,166	1,024	740	1,150		
	電話			247	223	172	187	201	421	241		
	文書・FAX・メール			149	318	207	104	182	295	282		
	合計		3年度	1,404	1,635	1,328	1,457	1,407	1,456	1,673		
			2年度	947	1,508	1,090	1,430	1,674	1,660	1,984		
複写枚数			3年度	5,232	5,705	3,856	8,385	7,047	5,525	7,717		
			2年度	148	2,191	4,295	5,847	7,725	7,607	6,841		
インターネット検索数	接続回数		3年度	17,679	19,993	19,966	19,435	23,821	25,031	20,049		
			2年度	36,642	46,782	30,952	31,758	31,348	20,106	18,924		
	検索回数	自館	3年度	129,238	119,876	106,557	124,320	128,449	154,783	121,989		
			2年度	98,238	106,046	113,775	105,264	102,157	95,033	91,780		
		横断検索	3年度	15,470	16,811	15,707	14,392	14,313	13,978	14,787		
			2年度	13,139	12,938	14,831	17,159	16,572	15,947	15,852		
携帯電話	検索回数		3年度	4,364	4,903	4,594	4,625	5,278	5,519	4,784		
			2年度	3,481	5,256	3,532	4,210	5,847	3,894	4,225		

* 「新潟県立図書館年報 2007」 (2008年発行) より行事参加数を入館者数として掲げています。

3日～16日は臨時休館)

出のみ行った日数・利用者数を含む。令和2年4月20日～5月11日は開館日数に含まない。

11月	12月	1月	2月	3月	合 計	一日平均	対前年比	区分
25	24	24	24	28	306		106.6%	開館日数
26	24	25	18	26	287			
25,176	20,447	20,763	23,937	25,354	296,418	968.7	109.5%	総数
28,345	22,748	20,438	20,555	26,309	270,741	943.3		
24,972	19,904	20,763	23,908	25,354	295,474	965.6	109.3%	入館者数
28,288	22,632	20,438	20,555	26,168	270,343	942.0		
204	543	0	29	0	944		237.2%	内訳
57	116	0	0	141	398			
277	206	207	238	265	3,357	11.0	108.9%	登録者数
300	199	214	221	277	3,083	10.7		
13,160	12,261	12,447	12,841	14,289	157,151	513.6	116.8%	貸出人数
13,778	13,234	12,622	10,550	14,458	134,499	468.6		
27,918	26,588	27,428	28,118	30,826	342,681	1,119.9	113.7%	図書・雑誌
1,023	1,066	1,049	1,030	1,054	12,747	41.7	121.4%	
173	180	149	171	239	2,079	6.8	108.3%	日本海
6,704	5,890	5,968	6,264	7,100	76,787	250.9	119.5%	
35,818	33,724	34,594	35,583	39,219	434,294	1,419.3	114.9%	児童
1,969	1,849	1,844	1,894	2,044	23,600	77.1	101.1%	
37,787	35,573	36,438	37,477	41,263	457,894	1,496.4	114.0%	計
40,172	39,934	37,662	32,057	42,849	401,488	1,398.9		
3,102	3,096	3,087	3,346	3,412	39,321	128.5	90.7%	AV資料
3,312	3,601	3,250	3,126	3,421	43,354	151.1		
978	1,002	815	909	1,060	11,895	38.9	116.3%	口頭
255	350	220	243	227	2,987	9.8	55.2%	電話
117	153	255	235	277	2,574	8.4	136.0%	文書・FAX・メール
1,350	1,505	1,290	1,387	1,564	17,456	57.0	99.6%	
1,573	1,418	1,427	1,270	1,551	17,532	61.1		合計
5,802	5,533	5,166	5,232	5,769	70,969	231.9	123.6%	
6,081	4,502	3,229	3,469	5,465	57,400	200.0		複写枚数
18,129	18,214	24,082	21,391	21,937	249,727	684.2	82.9%	
17,089	16,752	17,016	16,972	16,925	301,266	825.4		接続回数
111,703	118,684	125,003	115,043	131,207	1,486,852	4,073.6	121.4%	自館
92,089	103,745	109,318	101,697	105,237	1,224,379	3,354.5		
14,233	16,399	16,801	15,688	16,190	184,769	506.2	102.2%	横断検索
14,303	13,167	15,843	14,708	16,260	180,719	495.1		
4,455	4,192	5,160	5,028	5,440	58,342	159.8	113.8%	検索回数
4,186	3,805	4,123	4,143	4,579	51,281	140.5		

2 分類別利用数（貸出冊数）

区分	分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	合計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術	産業	芸術	語学	文学	
図書・雑誌	一般	R3 15,273	14,982	22,398	45,014	28,466	53,018	14,569	32,370	6,663	109,928	342,681
		比率 (4.5)	(4.4)	(6.5)	(13.1)	(8.3)	(15.5)	(4.3)	(9.4)	(1.9)	(32.1)	(100.0)
	郷土	R3 97	518	4,885	1,188	338	1,539	473	1,052	57	2,600	12,747
		比率 (0.8)	(4.1)	(38.2)	(9.3)	(2.7)	(12.1)	(3.7)	(8.3)	(0.4)	(20.4)	(100.0)
	日本海	R3 19	11	274	1,588	27	30	71	30	6	23	2,079
		比率 (0.9)	(0.5)	(13.2)	(76.5)	(1.3)	(1.4)	(3.4)	(1.4)	(0.3)	(1.1)	(100.0)
	児童	R3 405	374	795	1,201	5,239	1,635	939	56,935	189	9,075	76,787
		比率 (0.5)	(0.5)	(1.0)	(1.6)	(6.8)	(2.1)	(1.2)	(74.3)	(0.2)	(11.8)	(100.0)
	計	R3 15,794	15,885	28,352	48,991	34,070	56,222	16,052	90,387	6,915	121,626	434,294
		比率 (3.6)	(3.7)	(6.5)	(11.3)	(7.8)	(12.9)	(3.7)	(20.8)	(1.6)	(28.1)	(100.0)
		R2 13,645	14,293	26,891	42,740	30,836	49,819	13,797	77,582	5,377	103,155	378,135
AV資料	R3	0	0	0	0	0	0	0	23,600	0	0	23,600
	R2	0	0	0	0	0	0	0	23,353	0	0	23,353
合計	R3	15,794	15,885	28,352	48,991	34,070	56,222	16,052	113,987	6,915	121,626	457,894
	比率	(3.4)	(3.5)	(6.2)	(10.7)	(7.4)	(12.3)	(3.5)	(24.9)	(1.5)	(26.6)	(100.0)
	R2	13,645	14,293	26,891	42,740	30,836	49,819	13,797	100,935	5,377	103,155	401,488

3 年齢別利用数

区分	年齢	~10	~20	~30	~40	~50	~60	~70	~80	81~	合計
		~10	~20	~30	~40	~50	~60	~70	~80	81~	
貸出冊数	一般	R3 6,710	10,987	21,932	36,512	61,338	58,771	74,686	62,971	8,774	342,681
		比率 (2.0)	(3.2)	(6.4)	(10.7)	(17.9)	(17.2)	(21.7)	(18.3)	(2.6)	(100.0)
	郷土	R3 179	196	634	858	1,880	1,919	3,170	3,249	662	12,747
		比率 (1.4)	(1.5)	(5.0)	(6.7)	(14.7)	(15.1)	(24.9)	(25.5)	(5.2)	(100.0)
	日本海	R3 16	46	289	101	241	233	562	540	51	2,079
		比率 (0.8)	(2.2)	(13.9)	(4.9)	(11.6)	(11.2)	(26.9)	(26.0)	(2.5)	(100.0)
	児童	R3 22,497	1,818	3,187	28,040	14,487	2,173	2,804	1,724	57	76,787
		比率 (29.3)	(2.4)	(4.2)	(36.4)	(18.9)	(2.8)	(3.7)	(2.2)	(0.1)	(100.0)
	計	R3 29,402	13,047	26,042	65,511	77,946	63,096	81,222	68,484	9,544	434,294
		比率 (6.8)	(3.0)	(6.0)	(15.1)	(17.9)	(14.5)	(18.7)	(15.8)	(2.2)	(100.0)
登録者数	AV資料	R3 491	274	900	1,978	3,159	3,664	7,955	4,585	594	23,600
		比率 (2.1)	(1.2)	(3.8)	(8.4)	(13.4)	(15.5)	(33.7)	(19.4)	(2.5)	(100.0)
	合計	R3 29,893	13,321	26,942	67,489	81,105	66,760	89,177	73,069	10,138	457,894
		比率 (6.5)	(2.9)	(5.9)	(14.7)	(17.7)	(14.6)	(19.5)	(16.0)	(2.2)	(100.0)
	R2	23,875	11,931	22,979	62,653	77,006	56,971	80,586	57,738	7,749	401,488
貸出人數	R3	6,717	4,811	10,977	20,578	28,671	26,105	32,063	24,073	3,156	157,151
	比率	(4.3)	(3.1)	(7.0)	(13.1)	(18.2)	(16.6)	(20.4)	(15.3)	(2.0)	(100.0)
	R2	5,428	4,136	8,902	18,344	26,262	21,395	28,715	18,858	2,459	134,499
登録者数	R3	254	287	602	634	607	403	317	221	32	3,357
	比率	(7.6)	(8.5)	(17.9)	(18.9)	(18.1)	(12.0)	(9.4)	(6.6)	(1.0)	(100.0)
	R2	227	268	523	576	591	355	343	178	22	3,083

4 遠隔地返却サービス利用冊数(令和3年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
上越市	0	0	0	18	0	0	10	18	13	0	20	11	90	上越合計 90 冊 (16件)
糸魚川市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
妙高市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
長岡市	3	46	30	42	31	3	19	25	9	66	33	10	317	中越合計 1,244 冊 (415件)
三条市	4	37	11	28	24	0	32	27	16	17	31	7	234	
柏崎市	3	7	7	0	2	0	0	2	0	6	20	0	47	
小千谷市	0	0	0	15	0	0	0	3	0	5	8	0	31	
加茂市	7	9	10	22	31	0	18	22	24	40	30	40	253	
十日町市	5	0	4	4	7	5	5	0	9	0	0	0	39	
見附市	1	39	10	5	0	0	18	0	3	0	3	1	80	
魚沼市	0	0	0	0	10	10	0	0	0	0	0	0	20	
南魚沼市	10	0	0	4	0	0	0	2	0	0	2	0	18	
出雲崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
刈羽村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
田上町	0	12	34	28	15	17	17	7	0	22	12	41	205	
湯沢町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
津南町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
新発田市	10	9	5	25	20	45	44	35	20	15	1	19	248	下越合計 928 冊 (279件)
村上市	35	52	48	14	30	7	25	10	36	10	0	26	293	
燕市	16	21	18	3	12	21	13	25	5	3	8	23	168	
五泉市	12	5	0	3	2	0	7	2	3	15	0	9	58	
阿賀野市	0	0	0	0	0	16	4	0	1	1	0	2	24	
胎内市	0	0	2	0	20	2	17	12	10	0	16	32	111	
聖籠町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
弥彦村	0	0	7	0	1	3	0	0	0	2	0	0	13	
阿賀町	3	9	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	13	
関川村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
粟島浦村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
佐渡市	0	0	2	2	0	0	0	6	6	0	0	20	36	(6件)
合計	109	246	188	213	205	129	230	196	155	202	184	241	2,298	(716件)

5 障害者サービス利用数(令和3年度)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
対面朗読 (人数)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
サピエ図書館 (タイトル数)	26	40	20	16	25	10	25	10	19	12	14	16	233

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、令和3年度の対面朗読サービスは休止

6 団体貸出サービス利用数(令和3年度)

貸出冊数

団体区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	登録団体数
A	30	30	20	45	25	15	30	30	30	25	30	45	355	2
B	97	81	100	82	90	87	88	89	102	94	107	138	1,155	10
合計	127	111	120	127	115	102	118	119	132	119	137	183	1,510	12

A…読書の場づくり支援サービス

(個人での図書館利用が困難な方が入所・所属する団体の読書環境を支援するサービス)

B…子どもの読書普及活動支援サービス

(子ども向けの読書普及活動を行う団体の活動内容の充実を支援するサービス)

7 レファレンス件数（令和3年度）

(1) 分類別件数

分類	0 総記	1 哲学	2 歴史	3 社会科学	4 自然科学	5 技術	6 産業	7 芸術	8 語学	9 文学	郷土	日本海	合計	一日 平均
口頭	433	398	876	1,281	642	603	302	1,909	124	3,258	2,000	69	11,895	38.9
電話	353	83	155	314	186	128	59	403	117	557	622	10	2,987	9.8
文書	153	16	18	5	35	58	63	30	6	5	193	0	582	1.9
FAX	11	0	13	0	41	5	2	17	0	7	90	0	186	0.6
メール	30	2	53	58	8	21	7	4	0	22	1,588	13	1,806	5.9
合計	980	499	1,115	1,658	912	815	433	2,363	247	3,849	4,493	92	17,456	57.0
(比率)	(5.6)	(2.9)	(6.4)	(9.5)	(5.2)	(4.7)	(2.5)	(13.5)	(1.4)	(22.0)	(25.8)	(0.5)	(100.0)	
2年度	1,003	551	1,253	1,837	968	856	374	1,965	191	4,053	4,364	117	17,532	61.1
(比率)	(5.7)	(3.1)	(7.1)	(10.5)	(5.5)	(4.9)	(2.1)	(11.2)	(1.1)	(23.1)	(25.0)	(0.7)	(100.0)	

(2) 調査種別件数

所蔵調査	9,675
所蔵機関調査	960
書誌的事項調査	222
簡易な事実調査	949
文献紹介	5,371
その他	279
合計	17,456

(3) 時間別件数

即答	16,398
30分程度	703
1時間程度	130
2時間程度	46
4時間程度	52
1日以上	127
合計	17,456

- 注) 所蔵調査 : ある特定の文献の当館での所蔵の有無の調査
 所蔵機関調査 : ある特定の文献を所蔵する他の機関の調査
 書誌的事項調査 : ある特定の文献の著者名・書名・出版者・出版年等の調査
 簡易な事実調査 : 基本的なレファレンスブックを利用して回答できる程度の事実調査
 文献紹介 : ある主題についての文献の紹介および文献を利用して行う調査
 その他 : 複写依頼等の上記にあてはまらないこと

8 館内で利用可能なデータベース一覧

令和4年3月末現在

データベース名	内容
官報情報検索サービス	官報情報検索データベース
蔵書Ⅱビジュアル	朝日新聞記事検索データベース
D 1 – L a w . C o m 第一法規法情報	法律情報検索データベース
新潟日報記事データベース	新潟日報記事検索データベース
にいがた MALUI連携・地域 データベース	新潟県内の文化資源の統合型データベース（新聞・地域映像）
日経テレコン21	ビジネス情報検索データベース
毎索	毎日新聞記事検索データベース
ヨミダス歴史館	読売新聞記事検索データベース

VII 協力業務

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年9月3日から9月16日まで臨時休館。一部サービス（予約資料の貸出）を実施)

1 資料の貸借状況

館種別	年度	県内							県外			合計	
		公立図書館		公民館図書室	大学図書館	試験研究機関等	学校図書館等	計	国立国会図書館	公立図書館	その他		
		新潟市	新潟市以外										
資料貸出冊数	相互貸借	R3	548	5,656	104	485	317	108	7,218	269	7	7,494	
		R2	656	5,675	84	446	252	44	7,157	268	6	7,431	
	一括貸出	R3	4,000	3,800				7,800				7,800	
		R2	3,200	2,000				5,200				5,200	
	計	R3	548	9,656	3,904	485	317	108	15,018	269	7	15,294	
		R2	656	8,875	2,084	446	252	44	12,357	268	6	12,631	
	資料借受冊数	R3	169	55	0	80	0	0	304	10	45	10	369
		R2	135	9	0	73	0	0	217	4	31	7	259

＊臨時休館中、旧五箇所による他の図書館等への資料貸出は通常とおり行つた。

2 レファレンス状況

館種別	国立国会図書館	公立図書館		公民館図書室	大学・短大図書館		学校図書館等	試験研究機関等	R3年度合計	R2年度合計
		県内	県外		県内	県外				
		レファレンス受付件数	0		72	29			50	170
レファレンス依頼件数		12	10	4	0	0	0	0	6	32
										39

3 訪問事業の件数（令和3年度）

（1）訪問相談（訪問総数：8件）

館種	時期	訪問先	件数	相談事例
公立図書館	上半期	長岡市（Zoom）、南魚沼市	2	・図書館の移転 ・資料配架 ・蔵書点検 ・選書（年代別、「読書バリアフリー」法） ・蔵書構成 ・県立図書館からの資料の借り受け
	下半期	出雲崎町、村上市	2	
公民館図書室	上半期	なし		
	下半期	なし		
大学・短大図書館	上半期	なし		・資料保存
	下半期	新潟薬科大学附属図書館	1	
試験研究機関等	上半期	なし		・資料管理 ・蔵書点検 ・複写サービス
	下半期	公益財団法人新潟県埋蔵文化財調査事業団	1	
県立学校図書館	上半期	高田南城	1	・図書館運営 ・利用者増加の取組み ・調べ学習での図書館活用 ・選書 ・図書の受入、整理 ・資料展示 ・図書の除籍、廃棄
	下半期	白根	1	

※上半期は4～9月、下半期は10～3月。

(2) 訪問研修 (訪問件数: 12件、参加総数: 134名) ※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、参加人数に制限あり

訪問先	期日	内容	参加者数
柏崎市立図書館	6月29日 (火)	視覚障害者サービス (基礎編)	11名
新発田市立中央図書館	7月8日 (木)	視覚障害者サービス (基礎編)	23名
佐渡市立中央図書館 (Zoom)	9月8日 (水)	視覚障害者サービス (基礎編)	10名
長岡市立中央図書館 (Zoom)	8月30日 (月)	郷土レファレンス	20名
燕市立図書館 (Zoom)	9月27日 (月)	郷土レファレンス	17名
上越市立高田図書館	10月21日 (木)	視覚障害者サービス (基礎編)	6名
田上町地域学習センター図書室	11月12日 (金)	資料の修理や保存の基礎 (講義、実習)	5名
阿賀町公民館図書室津川分館	11月19日 (金)	資料の修理や保存の基礎 (講義、実習)	4名
十日町情報館	11月22日 (月)	郷土レファレンス	14名
小千谷市立図書館	12月6日 (月)	レファレンス研修「初級編」	9名
長岡市立中央図書館 (Zoom)	2月28日 (月)	レファレンス研修「初級編」	12名
長岡工業高等専門学校図書館	3月23日 (水)	資料の修理や保存の基礎 (講義、実習)	3名

(3) 訪問セミナー: テーマ「地域資料の収集と活用」 (訪問件数: 3件、参加総数: 28名)

訪問先	期日	参加者数
田上町地域学習センター図書室	7月9日 (金)	7名
十日町情報館 (Zoom)	8月23日 (月)	15名
上越市立高田図書館	12月16日 (木)	6名

4 関係団体一覧 (令和4年3月31日現在)

名称	構成員	事業目的	事務局
新潟県図書館協会	・県内公立図書館 ・〃公民館	県内図書館事業の進歩発展と本県文化の振興への寄与	当館企画協力課
新潟県読書推進運動協議会	・県内公立図書館 ・〃公民館 ・学校図書館 ・新聞社、放送局等報道機関 ・書店組合等出版関係団体 ・その他関係団体	読書普及の推進と本県文化の発展への寄与	当館企画協力課
新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会	・県内公立図書館協議会	県内公立図書館協議会委員相互の連絡と、県内図書館の発展への寄与	当館企画協力課

<当館加盟団体一覧>

- ・日本図書館協会
- ・全国公共図書館協議会
- ・関東地区公共図書館協議会 (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野、静岡)
- ・北陸地区県立図書館長会 (福井、石川、富山、新潟)

5 「新潟県図書館等情報ネットワーク」推進状況 (令和4年3月31日現在)

(1) 事業目的

各構成機関の所蔵資料や情報等の有効活用ならびに相互の連携・協力によるサービスの向上

(2) 構成機関

館種	公立図書館	公民館図書室	大学・短大図書館	試験研究機関等	合計
参加館数	46	7	23	10	86

※視覚障害者情報センターの数値データは試験研究機関に含む

6 新潟県内小規模図書館等セット図書長期一括貸出（令和3年度）

貸出市町村：8市町村 貸出総数：7, 800冊

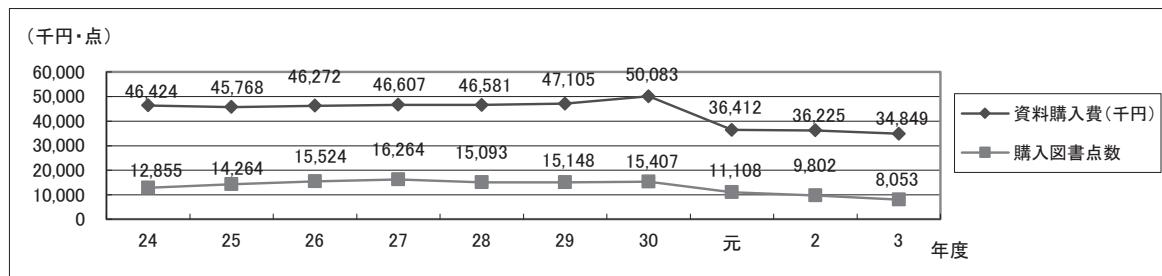
※コロナ禍のため10月予定の第2回貸出を11月に延期の上で実施

セット名	回数 貸出期間	第1回	第2回	第3回
		6. 11～9. 10	11. 19～2. 25	3. 11～6. 17
1 児童書定番セット1	関川村公民館	関川村公民館	十日町図書館	
2 児童書定番セット2	加茂市立図書館	加茂市立図書館	加茂市立図書館	
3 児童書児童図書賞受賞セット1	出雲崎町立出雲崎図書館	十日町図書館	加茂市立図書館	
4 児童書児童図書賞受賞セット2	加茂市立図書館	加茂市立図書館	田上町公民館	
5 児童書児童図書賞受賞セット3	田上町公民館	関川村公民館	弥彦村公民館	
6 児童書児童図書賞受賞セット4	十日町図書館	関川村公民館	関川村公民館	
7 児童書調べものセット1	関川村公民館	出雲崎町立出雲崎図書館	関川村公民館	
8 児童書調べものセット2	加茂市立図書館			出雲崎町立出雲崎図書館
9 児童書調べものセット3	加茂市立図書館			
10 児童書科学セット1	加茂市立図書館			関川村公民館
11 児童書科学セット2	加茂市立図書館	加茂市立図書館	関川村公民館	
12 小学生低学年向け読み物セット	十日町図書館	田上町公民館	関川村公民館	
13 YA朝読セット1	十日町図書館	関川村公民館	阿賀町公民館	
14 YA朝読セット2	田上町公民館	加茂市立図書館	阿賀町公民館	
15 YA朝読セット3	関川村公民館	十日町図書館	十日町図書館	
16 くらしセット1	関川村公民館	田上町公民館	加茂市立図書館	
17 くらしセット2	加茂市立図書館	阿賀町公民館	弥彦村公民館	
18 アウトドアセット1	関川村公民館	加茂市立図書館	田上町公民館	
19 アウトドアセット2	阿賀町公民館	関川村公民館	加茂市立図書館	
20 インドアセット1	加茂市立図書館	出雲崎町立出雲崎図書館	加茂市立図書館	
21 インドアセット2	関川村公民館	田上町公民館	出雲崎町立出雲崎図書館	
22 体と心の健康セット1	加茂市立図書館	関川村公民館	佐渡市立中央図書館	
23 体と心の健康セット2	阿賀町公民館	出雲崎町立出雲崎図書館	関川村公民館	
24 高齢者福祉セット1		十日町図書館	佐渡市立中央図書館	
25 高齢者福祉セット2	関川村公民館	関川村公民館	佐渡市立中央図書館	
26 いきいき終活セット1	関川村公民館	関川村公民館	関川村公民館	
27 いきいき終活セット2	加茂市立図書館	阿賀町公民館	佐渡市立中央図書館	
28 ビジネス支援セット1			出雲崎町立出雲崎図書館	
29 ビジネス支援セット2		佐渡市立中央図書館		

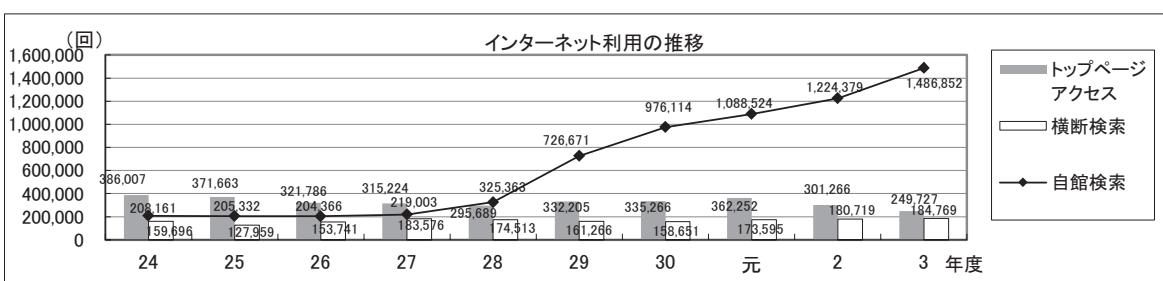
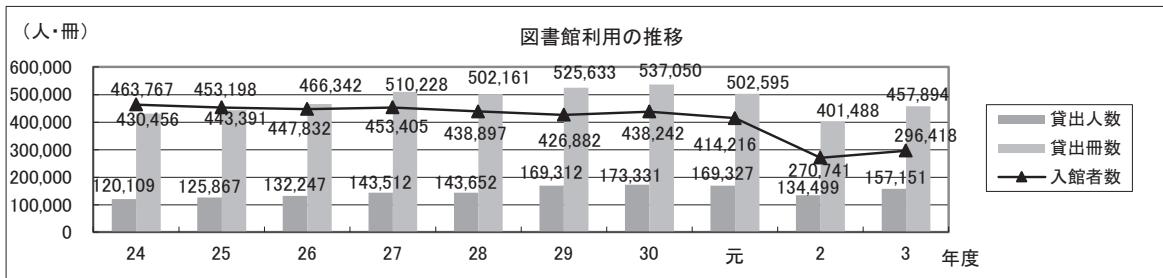
VIII この10年の推移

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年9月3日から9月16日まで臨時休館。一部サービス（予約資料の貸出）を実施)

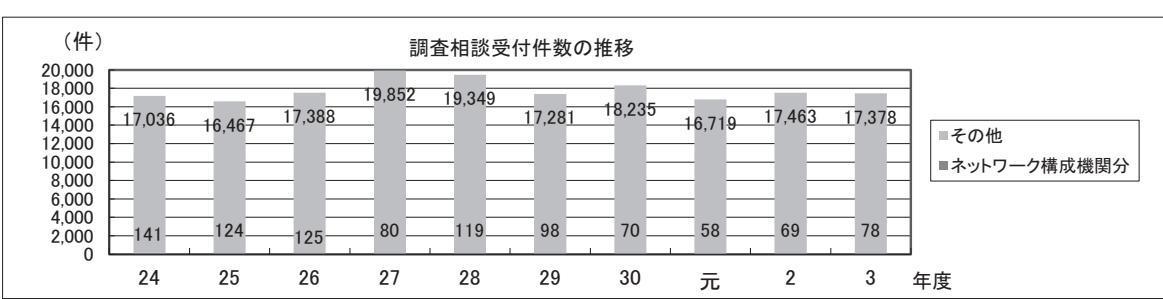
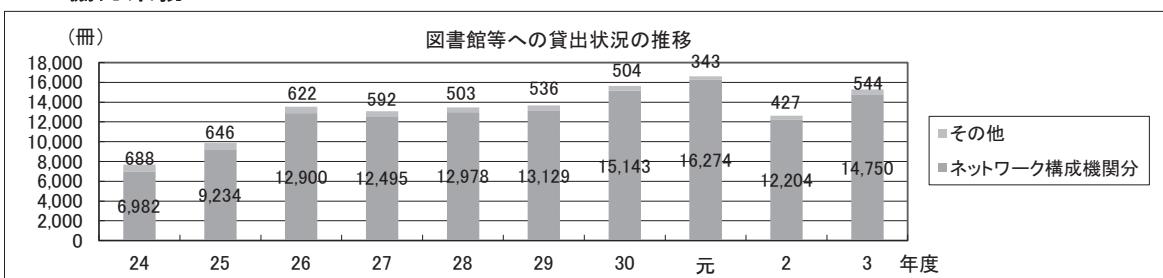
1 資料



2 利用



3 協力業務



IX 令和3年度 事業

(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年9月3日から9月16日まで臨時休館。一部サービス(予約資料の貸出)を実施)

1 行事

(1) 県立図書館ルネサンス事業 (参加総数 64名)

図書館には、個人や地域の抱える身近な課題に対応し、具体的な課題解決を支援する機能が求められている。これに応えるため「人づくり」「地域づくり」「県全体の図書館機能づくり」の視点から「役に立つ図書館」となるための具体的な取組を実施する。

名称	期日	内容	参加者数
秋の読書週間記念講演会	11月6日(土)	「いまなぜ本を読む必要があるのか?」 講師:幅 允孝氏(ブックディレクター・有限会社BACH代表) ※オンライン配信	44名
地域映像の上映会	第1回 7月7日(水)	伝統行事の風景 「越後の獅子舞」 「越後の盆行事」 「蒲原・沼垂の夏祭り」	20名

(2) こども図書室のイベント (参加総数 0名)

※令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全てのこども図書室イベントを休止した。

名称	日時	内容	開催回数	参加者数
こども図書室イベント 「絵本と工作を楽しもう」	毎週金曜日 午前	絵本と工作を楽しむミニイベント	—	—
こども図書室イベント 「0・1・2歳のための はじめての絵本と手遊び」	毎週金曜日 午後	0～2歳児向けの絵本と手遊び・わらべうたを楽しむミニイベント	—	—
ボランティアと楽しむ “わらべうた”と絵本	毎月第2土曜日	ボランティアといっしょに「絵本の読み聞かせ」や「わらべうた」「手遊び」を楽しむイベント	—	—
ボランティアといっしょに図書館の絵本を楽しもう	毎月第4日曜日 (8月は毎週日曜日開催)	ボランティアといっしょに「絵本の読み聞かせ」や「わらべうた」「手遊び」を楽しむイベント	—	—

(3) その他のイベント

名称	期日	内容	参加者数
司書のおすすめパック相談室	4月23日(金)～30日(金)	利用者が希望するテーマで選書し、メッセージを添えてパックにして貸出	21名
わくわくセット	10月28日(木)～11月28日(日)	毎日(休館日を除く)、テーマごと3冊ずつのセットを10袋用意し、貸出	97セット(291冊)配布
BSNキッズプロジェクト「本の世界へ2021」(主催:BSN新潟放送)	10月17日(日)	「絵本で話そうSDGs」 講師:朝日仁美氏(絵本でSDGs推進協会理事、司書、絵本専門士) 読み聞かせ:前野智郎氏(BSN新潟放送アナウンサー)	45名
季節の上映会		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、上映会(県立生涯学習推進センター)の定員が制限されていることを受け、連携は休止	
古本再生市		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず	
絵本ワールドinにいがた(主催:新潟日報社)		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施せず	

2 ギャラリー展示

開催期間	展示テーマ	主催者
4月7日～4月25日	「第2回にいがた「道」フォトコンテスト受賞作品パネル展示会」	にいがた「道」フォトコンテスト実行委員会(新潟県土木部道路建設課)
4月28日～5月16日	「名画を模写る 一 川崎道雄油彩画展」	川崎道雄氏
5月19日～6月6日	「第11回 互彩会水彩画展」	互彩会
6月16日～7月4日	「新潟散歩Ⅱ」	高橋芳明氏
7月7日～7月25日	「新潟駅周辺整備事業PR展」	新潟市新潟駅周辺整備事務所
7月28日～8月15日	東映創立70年 初代社長大川博(現西蒲区出身)没後50年記念企画 懐かしの映画ポスター展	新潟娯楽映画同好会
8月18日～9月1日	「四季折々の花」	小出好子氏
9月25日～10月10日	「三水会 油彩画展」	三水会
10月12日～10月31日	「SDGsパネル展ー知ろう・学ぼう・始めよう！」	新潟県立図書館
11月3日～11月23日	「萌木会展」(水彩画)	萌木会
11月25日～12月12日	「見て、聴いて、楽しむ！バリアフリー読書」	新潟県立図書館
12月15日～12月26日	「新潟県統計グラフコンクール入選作品展」	新潟県及び新潟県統計協会
1月5日～1月16日	「新春掛軸展」	新潟県立図書館
1月19日～2月6日	「にいがたフォレストリーマガジン写真展」	新潟県農林水産部林政課
2月9日～2月27日	「拉致問題を考えるパネル展」	新潟県知事政策局国際課
3月2日～3月13日	「卒業書作展」	新潟県立新潟江南高校書道部
3月16日～4月3日	「RDD2022世界希少・難治性疾患の日inにいがた」	NPO法人新潟難病支援ネットワーク

3 閲覧室内展示

	展示テーマ	テーマ数
4月	芳年～鬼才浮世絵師の世界～ (新潟県立万代島美術館「芳年 激動の時代を生きた鬼才浮世絵師」展関連)	他 5 件
5月	博覧会の世紀 1851-1970 (新潟県立歴史博物館「博覧会の世紀 1851-1970」展関連)	他 5 件
6月	女だから、男だから、ではなく、私だから、の時代へ 男女共同参画週間 (新潟県女性財団との連携)	他 6 件
7月	推し本発掘！新潟県中高生POPコンテスト (県教育委員会主催中高生POPコンテスト関連)	他 7 件
8月	さくさくもちもち、おいしさまんてん！新潟米粉 (農林水産部食品・流通課との連携)	他 6 件
9月	健康立県にいがた～5つのテーマから考えるにいがたのけんこう ～(健康づくり支援課との連携)	他 6 件
10月	新潟県の年中行事 (新潟県立歴史博物館・新潟市歴史博物館「四季の暮らし、小さなまつり-新潟県の年中行事-」展関連)	他 6 件
11月	いまなぜ本を読む必要があるのか(秋の読書週間記念講演会関連)	他 8 件
12月	みんなが喜ぶおもてなし	他 6 件
1月	雪国の発酵食文化(農林水産部食品・流通課との連携)	他 6 件
2月	写真で楽しむふるさとの風景	他 6 件
3月	新潟江南高校 POP展(新潟県立新潟江南高校との連携)	他 6 件

4 主要刊行物

書名	規格	頁数	刊行部数
新潟県の図書館 2021	A4版	114	300
令和3年度 新潟県立図書館年報	A4版	49	600
「ふくろうの森」の新潟県立図書館 メールマガジン (第129～142号)	メールマガジン		月1回配信 (最終火曜)

※メールマガジン登録者数 398名 (R4.3.31現在)

5 オリジナルデータベース

データベース名	令和3年度追加	合計
越後佐渡 デジタルライブラリー	撮影資料数 75点 撮影画像数 約930枚	公開資料数 4,458点 画像数 約96,760枚
新潟県立図書館 郷土人物索引データベース	2,311件	75,244件
新潟県立図書館 雑誌記事索引データベース	1,524件	52,176件

6 見学・視察等受入状況

種別	団体数	人数
小学校	0	0
中学校	0	0
高等学校	0	0
図書館	0	0
その他	1	2
計	1	2

7 新潟県立図書館ボランティア

事業名	期日等	内容	数
こども図書室 ボランティア	通年	・土、日、祝日の半日単位で活動 ・こども達の見守り、読み聞かせ、書架の整理など	計15名
公開書庫 ボランティア	4月～10月	・半日単位で活動 ・図書館公開書庫での利用者の案内、書架の整理など	計10名
フロアワーク ボランティア	通年	・開館日に活動 ・返却本を書架に返す作業や書架の整理など	計29名
ガーデン ボランティア	4月～11月	閉館日に活動。図書館の緑地や花壇の手入れ。園芸講座の企画運営。	計20名

X 令和3年度 研修・会議等

1 研修

名称	対象	内容	期日	参加者数
新潟県公共図書館新任職員研修会	新任公立図書館職員・公民館図書室担当職員	(集合・オンライン併催) 児童サービス・レファレンス演習ほか	6月3日(木)・ 4日(金)	32名
新潟県公共図書館中堅職員研修会 (※北陸地区公共図書館職員研修会と併催)	中堅公立図書館職員・公民館図書室担当職員	(オンラインで開催) 「図書館の地域連携と課題解決支援」 講師:札幌市中央図書館利用サービス課長 浅野隆夫氏 動画配信:9月29日(水)～10月6日(水) 課題提出:9月29日(水)～10月13日(水) 講師からの課題への返信:10月13日(水)～24日(日) 講師によるまとめ及び質疑応答:11月4日(木)	9月29日(水)～ 11月4日(木)	50名 (北陸地区の参加者を含む)
関東・甲信越静地区図書館地区別研修	関東・甲信越静地区の公立図書館職員・公民館図書室担当職員	(オンラインで開催) ◆基調講演「公共図書館のこれからの方向性を考える」 講師:慶應義塾大学名誉教授 田村俊作氏 ◆講義「図書館への『住民ニーズ』に関する考え方」 講師:専修大学教授 萩原幸子氏 ◆講義・演習「あなたの図書館ファンを増やすためにできること」 講師:フルライツスペース(株) 豊田高広氏 ◆講義「よりよい図書館サービスをめざして—認知症の基礎知識と基本的対応—」 講師:医療福祉学博士 結城俊也氏 ◆講演「こどもたちに向けた本の差し出し方について」 講師:ブックディレクター 幅允孝氏 ◆講義・演習「読書パリアフリー法の最新動向と図書館への期待」 講師:慶應義塾大学教授 中野泰志氏 ◆講義「『図書館の自由』を学び直す」 講師:沖縄国際大学教授 山口真也氏 ◆講義「地域の図書館で考える不易と流行」 講師:長崎県諫早市立図書館長 相良裕氏	11月30日(火) ～12月3日(金)	30日 81名 1日 234名 2日 223名 3日 56名 (対象地区的参加者を含む)

2 会議

名称	対象	期日	参加館数
第1回新潟県公立図書館長会議	県内公立図書館長	5月14日(金)	23館
第2回新潟県公立図書館長会議	県内公立図書館長	11月17日(水)	19館
新潟県公立図書館実務担当者会議	県内公立図書館職員	12月22日(水)	19館

3 新潟県図書館協会事業

名称	対象	期日	内容	参加者数
新潟県公共図書館総合部門研究集会	県内公立図書館・公民館図書室職員	2月24日(木)	(オンライン(Zoom)開催 視聴会場:新潟県立図書館) ◆テーマ 「公共図書館と地域住民との関係:エンゲージメントの観点から」 ◆基調講演 専修大学文学部教授 萩原幸子氏 ◆講義「あなたの図書館ファンを増やすために」 フルライツスペース(株) 豊田 高広氏	29名

4 新潟県読書推進運動協議会事業

名称	期日	内容	対象
こどもの読書普及功労者表彰	推薦館にて表彰状を伝達授与	鈴木 さゆり 氏 (三条市立図書館 推薦)	1名
優良読書グループ表彰	推薦館にて表彰状を伝達授与	○全国表彰 「おはなしまドレーヌ」(新潟市立豊栄図書館 推薦) ○新潟県表彰 「布絵本をつくる会タッチ」(三条市立図書館 推薦) 「田上小読み聞かせの会」(田上町公民館 推薦)	3団体

5 新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会事業

名称	期日	内容	参加者数
新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会	書面開催	・令和3年度新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会 資料集配付	-

XI 県立図書館の沿革

大正 4 年 4 月 1 日	「明治記念新潟県立図書館」として創立
大正 4 年 8 月 15 日	巡回文庫開始
大正 5 年 12 月 8 日	新潟市寄居町に館舎・書庫竣工、落成開館式挙行
大正 6 年 2 月 18 日	全館閲覧事務を開始
大正 6 年 6 月 1 日	一般向け館外貸出開始
大正 8 年 7 月 15 日	盲人室開室
昭和 8 年 9 月 15 日	県中央図書館に指定される
昭和 23 年 10 月 26 日	視聴覚ライブラリーを設置
昭和 25 年 1 月 15 日	開架式閲覧方式を採用
昭和 26 年 3 月 23 日	新潟県立新潟図書館設置条例公布により「新潟県立新潟図書館」と改称
昭和 26 年 6 月 1 日	郷土資料室開設
昭和 27 年 4 月 1 日	上越・中越・下越・佐渡に分館開設
昭和 27 年 9 月 15 日	糸魚川配本所開設
昭和 28 年 11 月 30 日	新潟市一番堀通町（旧県庁隣接）に新館竣工
昭和 28 年 12 月 21 日	新館落成、開館式挙行
昭和 29 年 1 月 6 日	新館閲覧事務開始
昭和 29 年 12 月 1 日	参考事務開始
昭和 33 年 4 月 1 日	新潟県点字図書館設立
昭和 33 年 5 月 26 日	P B リポート閲覧室開設
昭和 36 年 1 月 10 日	県政研究室開室
昭和 36 年 10 月 23 日	書庫改造工事完成
昭和 37 年 3 月 31 日	貸出文庫用自動車備付
昭和 37 年 6 月 1 日	自動車文庫巡回開始
昭和 39 年 3 月 31 日	新潟県立新潟図書館条例公布
昭和 39 年 3 月 31 日	新潟県視聴覚ライブラリーライン条例公布により「新潟県視聴覚ライブラリー」を併設
昭和 39 年 6 月 16 日	新潟地震被災
昭和 40 年 10 月 18 日	災害復旧工事完了、全館正常開館
昭和 40 年 11 月 18 日	新潟県立新潟図書館50年史刊行
昭和 42 年 3 月 31 日	移動図書館車“みづほ号”購入
昭和 50 年 12 月	公民館等への長期一括貸出開始
昭和 52 年 3 月 31 日	P B リポート国立国会図書館に返納
昭和 57 年 4 月 1 日	日曜開館月2回実施
昭和 58 年 12 月	黒龍江省図書館と資料交換を開始
昭和 59 年 4 月 1 日	新潟大学附属図書館と相互貸借について協定
昭和 62 年 4 月 1 日	市町村立図書館と覚書により雑誌の収集保存分担を開始
昭和 63 年 3 月	「新潟県立図書館整備基本計画」策定
平成 元 年 4 月 1 日	新潟県図書館等情報ネットワーク推進大綱制定
平成 元 年 4 月 1 日	新潟県図書館・公民館ネットワーク整備実施要綱策定
平成 2 年 7 月 24 日	新館起工式挙行
平成 3 年 3 月	公民館等への長期一括貸出廃止
平成 3 年 11 月 19 日	新館定礎式挙行
平成 4 年 3 月 30 日	新館竣工
〃	新潟県立図書館条例公布により「新潟県立図書館」と改称（4月1日施行）
〃	新潟県立生涯学習推進センター条例公布により「新潟県視聴覚ライブラリー」を廃止（4月1日施行）
平成 4 年 3 月 31 日	県立図書館分館廃止
平成 4 年 6 月 1 日	新潟県図書館等情報ネットワーク協定締結
平成 4 年 8 月 6 日	新潟県立図書館新館開館式挙行
平成 4 年 8 月 7 日	新潟県立図書館新館開館（生涯学習推進センター、文書館同時新設開館）
平成 4 年 8 月 7 日	新潟県図書館等情報ネットワークシステム（S-NOW）稼働
平成 5 年 7 月 1 日	長善館学塾資料を文書館へ移管
平成 5 年 12 月 3 日	新潟県報、新潟町片桐家文書ほか私家文書を文書館へ移管
平成 6 年 3 月 4 日	北蒲原郡各町村絵図ほかを文書館へ移管
平成 7 年 4 月	パイロット電子図書館総合目録ネットワークプロジェクトに参加
平成 7 年 10 月 25 日	第81回全国図書館大会（27日まで）新潟県で開催
平成 8 年 11 月	学術情報センター目録所在サービスに加入
平成 9 年 3 月 28 日	学塾三餘堂関係資料一括、新潟県指定有形文化財に指定

平成 10 年 4 月	国立国会図書館総合目録ネットワークに参加
平成 10 年 5 月 20 日	新潟県立図書館のホームページを開設
平成 10 年 6 月 17 日	「雑誌の収集保存分担に関する覚書」を廃止
平成 12 年 4 月 1 日	ホームページに資料検索機能等を登載
平成 14 年 8 月 30 日	南山図書館（韓国）と友好交流協定締結
平成 15 年 10 月 21 日	南山図書館（韓国）と友好交流協議書締結
平成 15 年 12 月 11 日	国立国会図書館レファレンス協同データベース実験事業参加
平成 16 年 1 月 15 日	ホームページに調査相談データベースを登載し、県内図書館等ネットワーク構成機関に公開
平成 17 年 3 月 29 日	新潟県内図書館横断検索システム公開
平成 17 年 4 月 1 日	11月 3 日（文化の日）等開館実施
平成 17 年 6 月 14 日	新潟県内図書館横断検索システムによる相互貸借開始
平成 18 年 10 月 3 日	ホームページに調査相談データベースを登載し、一般に公開
平成 18 年 11 月 24 日	魅力ある県立図書館づくり検討会は『魅力ある県立図書館づくり検討会報告書～くらしとしごとを支援する図書館をめざして～』を新潟県教育長に提出
平成 19 年 4 月 9 日	ホームページに新潟県関係雑誌索引データベースを公開
平成 19 年 7 月 31 日	くらしとしごとに役立つコーナー開設
平成 19 年 10 月 5 日	県立図書館の愛称が「ぶっくスワン」に決定
平成 20 年 4 月 1 日	祝日開館開始
平成 20 年 7 月 29 日	ユース・コーナー開設
平成 20 年 9 月 11 日	新潟県立図書館友の会設立
平成 20 年 12 月 16 日	くらしガーデン開設
平成 21 年 3 月 7 日	こども図書室オープン
平成 21 年 3 月 10 日	音声CD貸出サービス開始
平成 21 年 4 月 26 日	新潟地域図書館ネットワーク「めぐるくん」発足
平成 21 年 7 月 18 日	「くらしガーデン」拡張リニューアルオープン
平成 21 年 7 月 24 日	公開書庫（書庫の一般開放）スタート
平成 22 年 1 月 14 日	全国公共図書館研究集会（15日まで）新潟県で開催
平成 22 年 7 月～9月	国民読書年記念事業「ふくろうの森の図書館大賞」「100冊の本コレクション」開催
平成 23 年 1 月 7 日	図書館情報システム更新
平成 23 年 1 月 7 日	ホームページに「越後佐渡デジタルライブラリー」「郷土人物／雑誌記事索引データベース」を公開
平成 24 年 3 月 9 日	「大規模災害時における都県立図書館相互の応援に関する申合せ」決議
平成 24 年 3 月 13 日	ホームページで音楽配信サービス「音楽ライブラリー」を開始、「越後佐渡デジタルライブラリー」をリニューアル
平成 24 年 3 月 13 日	利用登録の郵送による申込み受付を開始
平成 26 年 4 月 8 日	国立国会図書館図書館向けデジタル化資料送信サービス開始
平成 26 年 9 月 24 日	新潟大学地域映像アーカイブ提供開始
平成 27 年 4 月 1 日	創立100周年を迎える
平成 27 年 10 月 28 日	創立100周年記念式典
平成 28 年 3 月 31 日	新潟県立図書館創立100周年記念誌刊行
平成 29 年 1 月 17 日	図書館情報システム更新 閲覧室内利用者用無線LAN提供開始
平成 29 年 3 月 23 日	「にいがたMALUI連携・地域データベース」提供開始
平成 30 年 7 月 1 日	遠隔地返却サービス開始 県内公立図書館・公民館図書室への相互貸借無料化
平成 30 年 10 月 31 日	サピエ図書館サービス提供開始
平成 31 年 3 月 31 日	年間個人貸出冊数が過去最高を更新し53万7千冊を達成
令和 元年 5 月 1 日	団体貸出サービス開始
令和 元年 10 月 1 日	「越後佐渡デジタルライブラリー」を全面リニューアル
令和 2 年 3 月 2 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～3月31日）
令和 2 年 4 月 1 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館を延長（～5月17日）
〃	エントランスホールで予約資料の貸出、返却受付等を実施（～4月19日）※緊急事態宣言発令のため、4月19日でサービス中止
令和 2 年 5 月 12 日	エントランスホールでの予約資料の貸出を再開（～5月18日）
令和 2 年 5 月 19 日	閲覧室の一部利用を再開（以降段階的にサービスを再開）
令和 3 年 6 月 15 日	「読書バリアフリーコーナー」を新設
令和 3 年 9 月 1 日	Twitterの運用を開始
令和 3 年 9 月 3 日	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館（～9月16日）
令和 4 年 3 月 27 日	「音楽ライブラリー」サービス終了
令和 4 年 3 月 29 日	マイナンバーカード連携による貸出を開始

XII 令和3年度の主な出来事

月 日	記 事	月 日	記 事
4 . 1	創立記念日	10 . 27	第75回秋の読書週間 [~11. 9]
23	第63回こどもの読書週間 [~5. 12] 司書のおすすめパック相談室 [~4. 30] - こどもの読書普及功労者表彰 【推薦館で伝達授与】	28	こども図書室を再開 「わくわくセット」の貸出 [~11. 28] - 優良読書グループ表彰式【推薦館で伝達授与】 - 新潟県公立図書館協議会委員連絡協議会 【書面開催】
5 . 14	第1回新潟県公立図書館長会議 新潟県図書館協会評議員会 - 関東地区公共図書館協議会第1回幹事会 【書面開催】	11 . 1	図書館総合展【配信】 [~30] 2 エントランス展示「読書おたよりコンクール」 [~12. 5]
6 . 3	新潟県公共図書館新任職員研修会 [~4] 7 藏書点検 [~14] 15 「読書バリアフリーコーナー」を新設 「新潟県の歴史と文化を旅するギャラリー」を 開始	6	新潟県立図書館秋の読書週間記念講演会「いま なぜ本を読む必要があるのか?」 (県立) 【オンライン】
24	国立国会図書館長と都道府県立及び政令指定 都市立図書館長との懇談会【オンライン】	11	全国図書館大会山梨大会【配信】 [~12]
25	全国公共図書館協議会定期総会【オンライン】 - 関東地区公共図書館協議会総会【書面開催】	17	第2回新潟県公立図書館長会議(県立)
7 . 7	地域映像の上映会「伝統行事の風景」	25	全国公共図書館研究集会(サービス部門 総合 ・経営部門)【配信】 [~12. 9]
8	関東地区公共図書館協議会研究発表大会 【オンライン】 [~9]		全国公共図書館研究集会(児童・青少年部門) 【配信】 [~12. 9]
9 . 1	Twitterの運用を開始	30	関東・甲信越静地区図書館地区別研修(県立) 【オンライン】 [~12. 3]
3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、 臨時休館。エントランスにて、予約資料の貸 出、ブックポストに返却ができない資料の返却 受付を実施。 [~16]	12 . 22	新潟県公立図書館実務担当者会議(県立)
10	関東地区公共図書館協議会都県立図書館長会議 【オンライン】	1 . 5	ギャラリー展示「新春掛軸展」 [~16]
29	新潟県公共図書館中堅職員研修会 (北陸地区公共図書館職員研修会と併催) (県立) 【オンライン】 [~11. 4]	2 . 24	新潟県公共図書館総合部門研究集会 (県立) 【オンライン】
10 . 5	第1回新潟県立図書館協議会(県立)	3 . 4	関東地区公共図書館協議会第2回幹事会 【オンライン】
12	ギャラリー展示「SDGsパネル展－知ろう・学ぼ う・始めよう！」 [~10. 31]	22	越後佐渡デジタルライブラリーをリニューアル
17	BSNキッズプロジェクト「本の世界へ2021」 「絵本で話そうSDGs」	23	第2回新潟県立図書館協議会(県立)
		27	「音楽ライブラリー」(ナクソス音楽配信 サービス)提供終了
		29	マイナンバーカード連携による貸出を開始 - 新潟県図書館協会理事会【書面開催】

() 内は開催地。新潟県立図書館で開催の場合は県立、新潟県内は市町村名、県外は都県名を記した。

XIII 施設等の概要

1. 施設 (生涯学習推進センター、文書館と併設)

- (1) 竣工 平成4年3月30日
 (2) 構造 鉄筋コンクリート二階建
 一部鉄骨鉄筋コンクリート造り平屋建
 (3) 管理敷地面積 15,600.00m²
 (4) 建築面積 8,664.41m²
 (5) 図書館延床面積 8,891.74m²

室名	面積	席数	収蔵可能冊数	利用者用端末
閲覧室	2,541.00m ²	338席	約14万冊	27台
共同研修室1・2	49.00m ²	24席	—	—
共同研修室3	42.00m ²	20席	—	—
こども図書室	53.00m ²	29席	約3千冊	1台
書庫	2,676.00m ²	—	約80万冊	1台

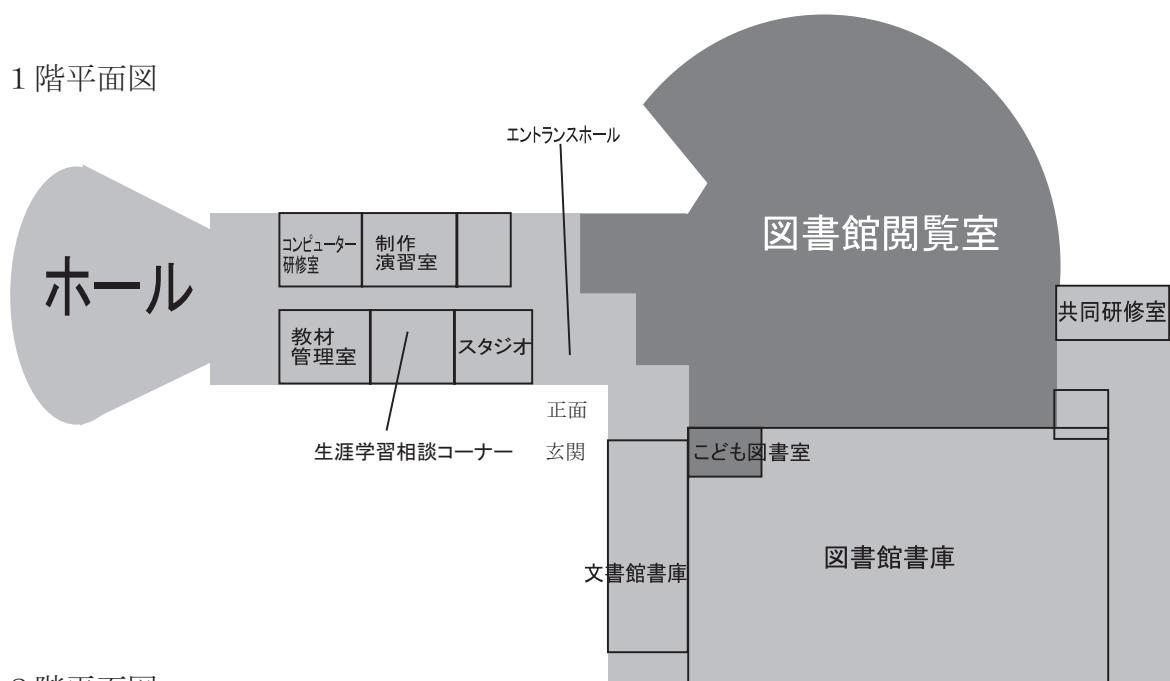
※閲覧室の席数内訳 閲覧机有：218席（持ち込みパソコン利用可能の36席を含む。）

ソファ・ベンチ等：120席

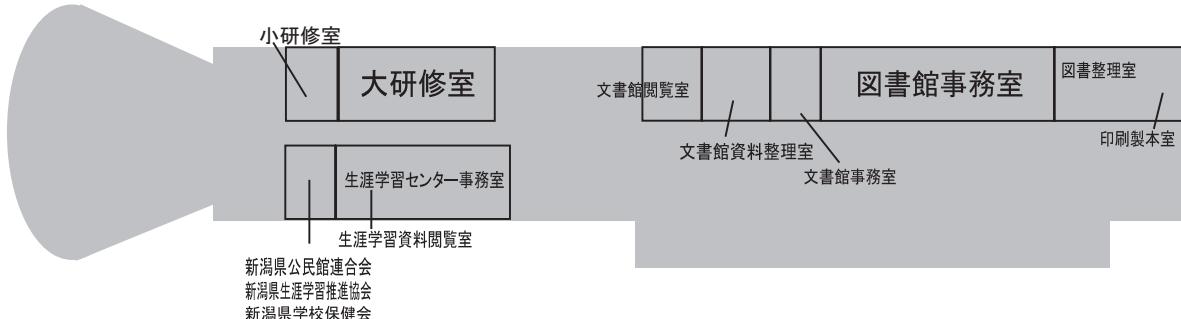
※感染症対策のため、下記のとおり座席数を制限している。（令和4年3月31日現在）

- ・閲覧室：221席 共同研修室1・2：8席 共同研修室3：5席
- ・こども図書室：レジャーシートを利用し3組まで滞在可

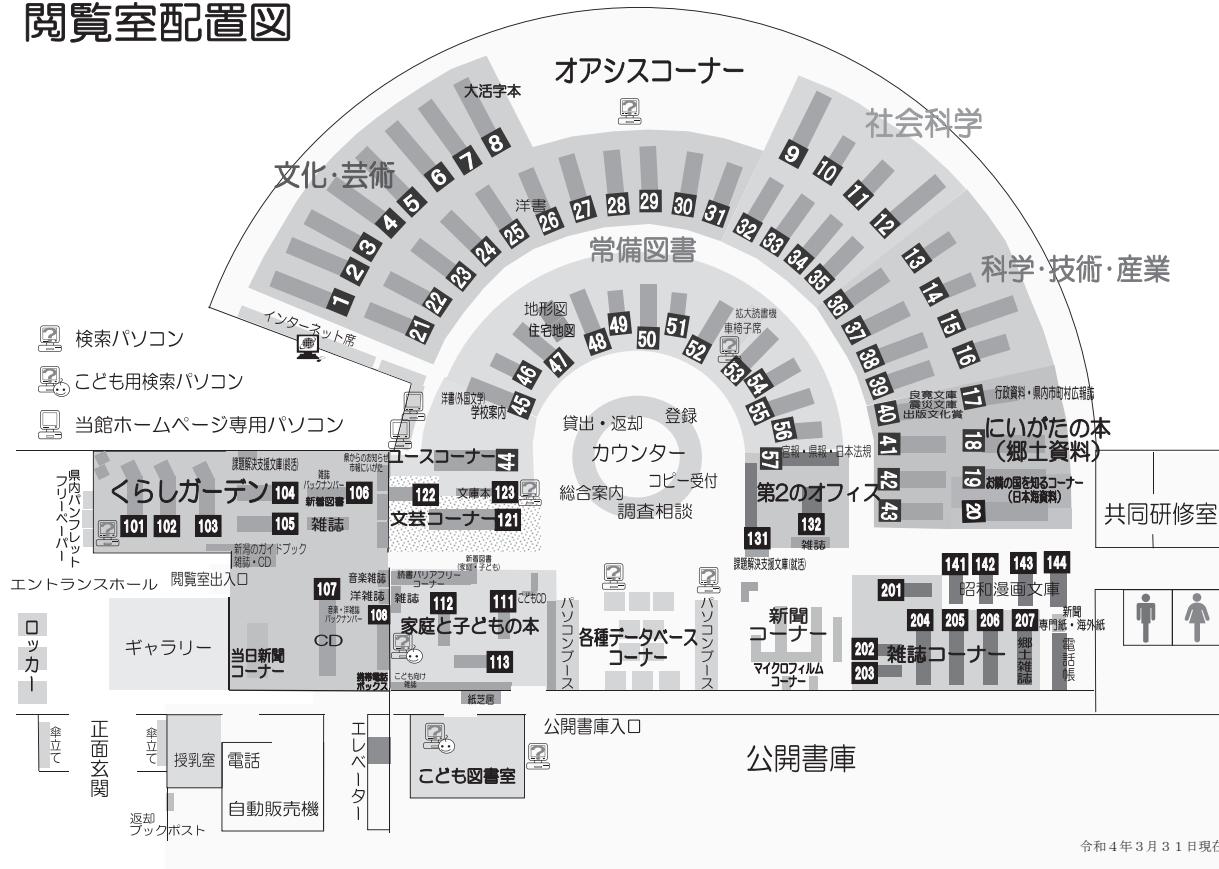
1階平面図



2階平面図



閲覧室配置図



2. コンピュータ

(1) 図書館システムサーバー

- | | |
|-------------|----|
| ・ホストサーバ内部 | 1台 |
| ・ホストサーバ外部 | 1台 |
| ・フィルタリングサーバ | 1台 |

(2) 端末機

- | | |
|------------------|-----|
| ・業務用 | 21台 |
| ・カウンターサービス用ノートPC | 3台 |
| ・利用者用 | 29台 |

内訳	インターネット開放用	8台
	特定ホームページ接続用	2台
	館内OPAC	9台
	外部データベース接続用	10台

新潟県立図書館規則

(昭和39年3月31日 新潟県教育委員会規則第5号)
最終改正 平成22年3月9日新潟県教育委員会規則第2号

第1章 総則

(趣旨)

第1条 この規則は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第33条及び新潟県立図書館条例（平成4年新潟県条例第37号）第2条の規定に基づき、新潟県立図書館（以下「図書館」という。）の管理運営について、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 図書館の開館時間は、午前9時30分から午後7時までとする。ただし、土曜日、日曜日、国民の祝日にに関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「祝日」という。）及び12月28日は、午後5時までとする。

2 前項の開館時間は、図書館の長（以下「館長」という。）が必要と認めるときは、臨時にこれを変更することができる。

(休館日)

第3条 図書館の休館日は、次のとおりとする。

- (1) 月曜日（その日が祝日に当たるときを除く。）
- (2) 12月29日から翌年1月4日まで
- (3) 特別整理期間（年間2週間以内）

2 前項の休館日は、館長が必要と認めるときは、これを変更し、又は臨時に休館することができる。
(秩序の維持)

第4条 図書館を利用する者は、この規則に定めるもののほか、諸規程に従い、館内の秩序の保持に努めなければならない。

(利用の制限)

第5条 館長は、館内の秩序を乱し、又は乱すおそれのある者に対し、入館を禁じ、又は退館を命ずることができる。

(利用の停止等)

第6条 この規則又は図書館の指示に違反した者に対しては、図書館の利用を停止し、又は禁止する。

(損害の弁償)

第7条 利用者が図書館資料（以下「資料」という。）を亡失し、又は損傷した場合は、現品又は相当の代金をもって弁償しなければならない。ただし、館長が不可抗力によると認めた場合は、この限りでない。

第2章 図書館資料等の館内利用

(館内利用)

第8条 閲覧室、共同研修室その他特に指定する場所の利用については、別に定めるところによる。
(資料の複写)

第9条 利用者は、図書館に対して、自らの調査研究のために必要な資料の複写を依頼することができる。

2 前項の複写に要する経費は、利用者の負担とする。

第3章 調査相談

(調査相談)

第10条 利用者は、図書館に対して、自らの教養、調査研究等のために必要とする資料について、調査を依頼し、相談することができる。

(経費の負担)

第11条 前条の規定による調査相談で、通信、複写等の経費を伴うものについては、利用者の負担とする。

第4章 図書館資料等の館外利用

(館外利用)

第12条 資料を館外で利用できる者は、県内に居住し、又は通勤し、若しくは通学する者とする。

(利用カードの交付)

第13条 資料を館外で利用しようとする者は、別に定めるところにより、利用カードの交付を受けなければならない。

2 前項の規定による利用カードの交付を受けようとするときは、身元を証する書類を提示しなければならない。

(利用冊数と期間)

第14条 館外において同時に利用できる資料の数は、図書等について10冊以内とし、その期間は2週間以内とする。ただし館長が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(館外利用のできない資料)

第15条 貴重資料の保存その他特別な事由により、館長が不適当と認める場合には、資料を館外で利用することができない。

(図書館等の館外利用)

第16条 次の各号に掲げる図書館等は、別に定めるところにより、資料の館外利用をすることができる。

(1) 図書館法(昭和25年法律第118号)に規定する公立図書館及び私立図書館

(2) 国立国会図書館

(3) 学校教育法(昭和22年法律第26号)に規定する学校に付属する図書館又は図書室

(4) 社会教育法(昭和24年法律第207号)に規定する公民館

(5) その他館長が適当と認めるもの

2 前項の規定による利用に要する経費は、利用者の負担とする。ただし、館長が必要と認めるときは、この限りではない。

第5章 寄贈及び寄託

(寄贈及び寄託)

第17条 図書館は、図書館資料となるものの寄贈及び寄託を受けることができる。

2 資料の寄贈又は寄託をしようとする者は、別に定めるところにより、館長の承認を受けなければならない。ただし、図書館が寄贈又は寄託を依頼した場合及び軽易な場合は、この限りでない。

(寄贈者の表示)

第18条 寄贈を受けた資料には、寄贈者の氏名及び寄贈年月日を記入し、その篤志を伝えるものとする。

(経費の負担)

第19条 寄贈及び寄託に要する経費は、寄贈者又は寄託者の負担とする。ただし、特別の事情がある場合は、図書館がその一部又は全部を負担することができる。

(寄託資料の管理)

第20条 寄託された資料の管理については、図書館の所有する資料に準ずるものとする。ただし、寄託者の承諾のある場合を除き、館外利用を認めない。

2 寄託された資料の受託期間は、1年以上とし、館長がこれを定める。ただし、寄託者の請求又は図書館の必要により、受託期間中においてもこれを返還することができる。

(損害賠償の責任)

第21条 寄託された資料が、災害その他不可抗力によって亡失、汚損又は損傷した場合は、図書館は、損害賠償の責を負わない。

第6章 補則

(館長への委任)

第22条 この規則の施行について必要な事項は、館長が定める。

附 則

1 この規則は、昭和39年4月1日から施行する。

2 新潟県立新潟図書館館則(昭和26年新潟県教育委員会規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成4年3月31日新潟県教育委員会規則第8号)

この規則は、平成4年4月1日から施行する。

(略)

附 則

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

令和3年度 新潟県立図書館 運営基本指針行動計画に係る評価

1 評価項目（指標）

(1) 地域社会への貢献

指 標	目 標	実 績	達成率	評価
ア [行政連携] ギャラリー展示回数	2回	5回	250%	A
イ [行政連携] コーナー展示回数	8回	24回	300%	A
ウ 県庁貸出冊数	100冊	160冊	160%	A
エ 越後佐渡DL デジタル化画像数	1,000点	935点	94%	B
オ 越後佐渡DL アクセス件数	12,000件	10,434件	87%	C
カ 郷土人物/雑誌記事索引DB 収録数	2,500件	3,835件	153%	A
キ 郷土人物/雑誌記事索引DB アクセス件数	5,300件	3,928件	74%	D

(2) 県内図書館への貢献

指 標	目 標	実 績	達成率	評価
ア 県内図書館等への協力貸出冊数	15,000冊	15,018冊	100%	A
イ 訪問等回数（研修以外）	20回	15回	75%	D
ウ 高等学校図書館への協力貸出冊数	50冊	108冊	216%	A
エ 市町村職員向け研修会等参加人数（訪問研修以外）	200人	188人	94%	B
オ 市町村訪問研修回数	10回	12回	120%	A
カ 訪問研修メニュー数	4	4	100%	A

(3) 県民の生涯にわたる学びへの貢献

指 標	目 標	実 績	達成率	評価
ア 入館者数	300,000人	296,418人	99%	B
イ 個人貸出冊数	420,000冊	457,894冊	109%	A
ウ レファレンス協同DB 登録件数	30件	32件	106%	A
エ SNSへの記事掲載回数	24回	65回	271%	A
オ サピエ資料の貸出冊数	220点	233点	106%	A
カ 職員全体研修会の開催（館内）	2回	2回	100%	A
キ 館内研修における職員の発表回数	10回	6回	60%	E
ク 職員の研修・会議等参加平均回数（全体研修除く）	平均2回	平均2.6回	129%	A

2 図書館協議会による評価

(1) 協議会の開催

- ・日時・場所 令和4年3月23日（水）新潟県立図書館・制作演習室

(2) 委員会とりまとめ

(1)における各委員の意見を荻原幸子委員長（専修大学経営学部教授）がとりまとめ、図書館協議会による評価とした。

令和3年度新潟県立図書館運営基本指針 行動計画評価シート

1 地域社会への貢献

・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)
 ・総合評価 (A=成果を上げている(4.5以上)、B=順調に進んでいる(3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる(2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいないといえない(1.5以上2.5未満))、E=事業の見直しが必要(1.5未満))

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	協議会意見
県各部局とのコラボ展示 ・県各部局との協議 ・展示市町村巡回展示の試行	行政連携事業の運用整備や改善を図るとともに、図書館を通じて県政策を県民にPRするためのコラボ展示の実績。 ①にいがた「道」フォトコンテスト受賞作品ペーネル展示会 (県土木部建設課) 4月6～27日 ②新潟駅周辺整備事業PR展(新潟市新潟駅周辺整備事務所) 7月6～27日 ③統計グラフコソクール(県統計課、県統計協会) 12月14～28日 ④にいがたフォレストリーマガジン写真展(県林政課) 1月19日～2月6日 ⑤拉致問題を考える巡回ペーネル展(県国際課) 1月19日～2月9～27日	5回 100%以上 評価 (5)	県施策を県民にPRする場としての図書館利用について、職員の理解が得られ、年度当初の目標を達成した。 次年度以降も更なる行政連携展示に取り組む。 「県巡回展示」市町村図書館巡回展示の充実を図り、県の行政施策の県民への周知に繋げていきたい。	A 達成率250%	目標を達成したことを評価する。 「県巡回展示」2回図書館協議会で指摘した通り、「県行政と3年度等2回大規模な取り組みであり、月替わり程度での展示等の実施が望ましい」ことが本件の趣旨ではない。新規の取り組みであることを、職員全体会で共有していただきたい。 取組みに対する意見を伝える相手である「県民」に対する意見聴取を行なうなど、改善方策を検討する必要もある。		
県の行政施策と連携した取組 ・特設コーナーにおける県行政施策の広報	図書館を通じて県施策を県民にPRするため、連携展示の呼びかけを県職員専用ポータルサイトで行った。 県民に関心を持ったうらうら組として、展示ブースでの施策PRラッシュや開運グッズの配布、策アシスターを実施した。また開運テーマ図書の配布し配布した。 <連携展示実績> 新潟県立歴史博物館、新潟県立歴史博物館、新潟県女性財団、長岡市美術館、新潟保健部感染症対策・業務課、農林水産部食育推進課、福祉保健部健康づくり支援課、農林水産部食品安全課、流通課、福祉保健部障害福祉課、新潟県労働委員会、県民生活・環境部スポーツ課、県民生活・環境部県民生活課	24回 100%以上 評価 (5)	県施策を県民にPRする場としての図書館利用について、職員の理解が得られた。今後も行政連携展示の周知があつた情報を周知を図り、県民に向かっていく。	A 達成率300%			
県各部局への情報提供の拡大 ・県庁貸出の手続改善 ・県各部局への周知	行政連携事業の運用整備や改善を図るとともに、県行政と連携拡大を目指して県各所属、職員に対して県職員専用ポータルサイトで県庁貸出サービスのPRを行った。	県庁貸出冊数 【100冊】	行政連携拡大を目的として県各所属、職員に対して県職員専用ポータルサイトで県庁貸出サービスのPRを行った。	160冊 100%以上	達成率160% 評価 (5)	県内図書館では、定期的にポータル等に掲載し、レンズ目次を、仕事に役立つ資料の紹介や、調査の立候補等に貢献している事例がある。より県行政を支える取り組みを進めています。	A

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	協議会意見
新潟県関係資料の積極的収集	・出版情報の多角的な把握 ・積極的収集と展示 ・書庫等の保存環境の整備 ・デジタル化も見えた行政資料の収集・展示の改善		・今年度は行政資料の収集に重点的に取り組むこととし、欠号状況・出版状況のチェックをおこない、寄贈依頼・受入れを進めめた。 ・書庫の保存環境については、実態調査を進めるとともに、不要物品等の廃棄を進めた。	郷土資料の収集点数は、2月末現在で3,665冊となつており、昨年同時期より273冊の増加となつている。特に、今年年度点的にみると、「行政資料」の収集点数について、対前年度比6割増の486冊となつている。			貴重資料のデジタル化は市町村支援の側面もあり、着実に進めたことを評価する。目標のアクセス件数によらず、引き続きアグレッシブで時宜を得たテーマ設定により、広く県民にアピールすれば高い評価が得られる。一方で、収集した資料による収集件数は、昨年より273冊の増加となつていて、特に「行政資料」の収集点数について、対前年度比6割増の486冊となつている。
文化資産としての郷土資料の収集・保存・活用	デジタル化画像数【1,000点】	935点 (画像数) 90% (撮影資料 点数75)	当初の年間計画どおり作業を進めることができたが、大半の余図等の撮影画像数は目標にわずかに及ばなかった。関係機関にも呼びかけ年度以降、関係機関にもデジタルライ化充分調整を行い、デジタルライ化の更なる充実を図っていく。	B	達成率94% (撮影資料 点数75) 90~100%	参加機関がさらに増えてデジタル資料が増加することを予想する。ただし、利便性の向上が求められるところでは、現状資料や、(日々の話題に連動した)郷土資料の「現物」を、関連図書とともにギャラリーで展示することを期待する。美術館・博物館的な役割も果たせることも、関連図書の利用にもつながるのではないかと考える。新潟の郷土芸能を収録・紹介するデジタル化への取り組みも要望する。	
越後佐渡デジタルライブラリーの充実	・デジタル資料の追加 ・利用環境の整備 ・利用者へのPR	10,434件 【12,000件】	・ホームページ上でデータに沿った収録資料を紹介する「新潟県の歴史と文化を旅するギャラリー」を6月から開始し、2ヶ月ごとに更新した。 ①「ちょうど昔の新潟」 ②「近代日本の発展と佐渡金銀山」 ③「風景！春日山城」 ④「雪国のおすすめデジタル古地図の世界」 ⑤「歩いて楽しむ古地図の世界」 また、3月に全国のおすすめデジタルアルカイブリンク集「デジタル画像を自分で楽しむ」を開設した。 ・資料の紹り込み検索機能を実現するシンクronをより便利にわかりやすくして、サイトのデザインをリニューアルを実施、懸念であった「二次利用条件の明示」についても開始した。 ・ホームページ上でデジタルライブラリーに開設する情報を更新を定期的に実施し、ツイッター等でPRに努めた。	C	達成率87% 評価（3） 80~90%	PRI努めるとともに、より利用しやすいシステムを目指しながら取組を行った結果、前年度よりはアクセス件数が増加したものとの、目標値には届かなかつたものの、3月の新規データ公開に合わせ、新規利用者の獲得を目指しさらにPRを行っていきたい。	

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	協議会意見
文化資産としての郷土人物/雑誌記事索引データベースの充実・資料の収集・保存・活用	データベース収録数【2,500件】	郷土人物索引については、2,311件のデータ入力作業を進め、郷土雑誌記事索引については、1,053件の記事を採録し、登録作業を進めており、追加の採録も開始している。	3,835件	達成率153% 評価（5） 100%以上	2つの索引の合計で、目標を超える約3,400件の登録をおこなうことができた。今後も、登録作業を進め、データベースの充実に努めていきたい。	A	
郷土人物/雑誌記事索引データの登録・利用者へのPR	アクセス件数【5,300件】	3月に予定されているデータ公開にあわせ、ツイッターによる情報発信を予定している。また、アクセスしてもらう機会を増加させるため、郷土人物についての「ピックアップコーナー」の新設を予定している。	3,928件	達成率74% 評価（2） 70~80%	今年度のアクセス数は目標値を下回った。3月には新規データ公開もあり広くPRに努めいきたい。	D	アクセス件数を増やす工夫が求められる。小・中学校や市町村の図書館等とさらに関連づけし、情報共有やPR活動を展開することが効果的であることが想定されたよう、「図書館による自己評価（左記）」に記されたような「利用者拡大」よりもむしろ、「現在の利用者のニーズや利用状況を十分に把握し、「利用件数の増加」を図る方向性での改善が望ましい。

2 県内図書館への貢献

- ・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)
- ・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上)、B=順調に進んでいる (3.5以上4.5未満)、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満)、D=順調に進んでいないとはいえない (1.5以上2.5未満))、E=事業の見直しが必要 (1.5未満))

項目名	取組概要	目標達成たための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
・県民へのPR ・市町村等のニーズ調査と貸出体制の見直し ・県内図書館等への協力貸出の充実 ・協力貸出冊数【15,000冊】 ・展示用コレクションの貸出	市町村立図書館等の新たなニーズを把握し起こすため、テーマ別図書セット貸出サービスを試行的に組みとしてスタートした。併せて市町村図書館職員に相互貸借サービスの活用を呼びかけた。	15,018冊	達成率100% 評価（5） 100%以上	9月から始めたテーマ別図書セット貸出サービスの利用は1館で始った。PR不足とニーズの見極め不足が原因と思われる。今後は、市町村図書館からの意見を聴取し運用を整備する利用促進を図る。なお当初、「高校貸出数」と実績への加算を想定していた。「高校貸出数」は対象外とした。	A	協力貸出は、県立図書館による市町村図書館等への働きかけが重要である。市町村図書館等の活性化を図ることが期待される。県立図書館から貸し出しされた資料の傾向などを分析することにより、利用動向を把握することが必要である。	
相談や情報交換会など様々な機会を捉えて、以下の訪問を行つたりオンラインに切り替えるなどして機応変に対応して実施した。 ①5月28日 南魚沼市図書館（訪問相談） ②6月22日 新潟市立中央図書館（障害者サービス情報交換会） ③6月25日 妙高市新図書館等複合施設建設業務委託プロポーザル審査会 ④7月9日 訪問セミナー「地域資料の収集と活用」（田上町） ⑤7月14日 訪問相談（県立高田南城高校） ⑥8月23日 訪問セミナー「地域資料の収集と活用」（十日町市図書館） ⑦9月8日 訪問セミナー「オンライン」 ⑧9月8日 訪問相談（長岡市立中央図書館） ⑨10月1日 訪問相談（新潟歯科大学附属図書館） ⑩10月13日 訪問相談（田舎崎町立図書館） ⑪10月22日 訪問相談（県立白根高校図書館） ⑫11月12日 訪問相談（村上市立中央図書館） ⑬11月19日 県規制障害者情報センター利用者懇談会 ⑭12月14日 次年度訪問研修についての検討会議（県規制障害者情報センター） ⑮12月16日 訪問セミナー（上越市立高田図書館） ⑯1月26日 訪問セミナー（理蔵文化財調査事業団）	訪問等回数 【20回以上】 （研修以外） ・相談・打合せなど、様々な機会を捉えて訪問の実施 県内図書館等への見直し ・県内図書館等への訪問の充実	15回	達成率75% 評価（2） 70~80%	コロナ禍による制約のもとで、オンラインを活用しながら、着実に取組んだことを目標と定めた。一方で、図書館が自らが設立した目標もともとでの達成が不可欠である。この取り組みは、市町村図書館等が県立図書館の状況を知る機会でもある。今後とも積極的な情報提供等を希望する。県立図書館職員には、市町村立図書館等が住民に親しまれている状況を参考にすることが期待される。近年では、私設の図書館・室が増えているようであり、状況把握が必要である。どのような場合を想定しているのかは明確にしておる。「撮影」を主目的とする手当り一撮影」は、明らかに「撮影」であり、本指標は「相談・打合せ」をしての「訪問」であり、本指標は「相談・打合せ」をしての「訪問」のうちに限定するべきである。（デジタルブラー一撮影によって評価するところが適切である。）	D	コロナ禍による制約のもとで、オンラインを活用しながら、着実に取組んだことを目標と定めた。一方で、図書館の達成が不可欠である。この取り組みは、市町村図書館等が県立図書館の状況を知る機会でもある。今後とも積極的な情報提供等を希望する。県立図書館職員には、市町村立図書館等が住民に親しまれている状況を参考にすることが期待される。近年では、私設の図書館・室が増えているようであり、状況把握が必要である。どのような場合を想定しているのかは明確にしておる。「撮影」を主目的とする手当り一撮影」は、明らかに「撮影」であり、本指標は「相談・打合せ」をしての「訪問」であり、本指標は「相談・打合せ」をしての「訪問」のうちに限定するべきである。（デジタルブラー一撮影についての評価については、「デジタル化画像」によつて評価することが適切である。）	
県内図書館等が実施するサービスへの支援	・高等学校への訪問 ・相談 ・協力貸出の推進 ・連携事業の実施 県立高等学校図書館への支援	高等学校協力貸出冊数【50冊】	達成率216% 評価（5） 100%以上	県立高等学校等へのアンケートを行つたことにより、相互貸借制度の理解に繋がった。また授業実験のための資料提供依頼があつたことによる効果もあつた。 ・県立高等学校等への支援による効果を期待する。私立高等学校への支援についても明示する必要がある。	A	協力貸出や学校図書館司書への支援など、改善を重ねることによる効果を期待する。私立高等学校への支援についても明示する必要がある。	

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
研修会等参加人 数 【訪問研修以 外】 【200人】	階層別研修や研究集会にオンライン形式を取り入れ、より多くに参加してもらえるよう取り組んだ。 ①6月3日、4日　新潟県公共図書館新任職員研修会　計36人 （会場：日9人、2日目12人、オンライン15人） ②9月29日～新潟県公共図書館中堅職員研修会配信・オンライン30人 ③11月30日～12月3日　関東甲信越静地区図書館地区別研修 計94人 ④2月24日　県内公共図書館総合部門研究集会　計28人	188人	達成率94% 評価（4） 90～100%	オンラインで開催することにより参加しやすくなるよう取り組んだが、目標にはわずかに及ばなかった。次年度も開催方法を工具のニーズに合った研修を充実させ、県内図書館のレベルアップを図っていきたい。	B	コロナ禍においても、着実に取組みを進めたことを評価する。		
各種研修会等の実施 ・階層別研修等の実施 ・オンライン研修 ・訪問研修の実施 ・訪問研修メニュー の改善 ・参考となる図書の 紹介・貸出 【10回以上】	新型コロナウイルス感染拡大に伴い、一時的に研修をオンラインに切り替えるなどして臨機応変に取り組んだ。 ①6月29日　視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（柏崎市立図書館） ②7月8日　視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（新発田市立中央図書館） ③8月30日　レフアレンス研修・郷土レフアレンス編（長岡市立中央図書館）オンライン ④9月8日　視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（佐渡市立中央図書館）オンライン ⑤9月27日　レフアレンス研修・郷土レフアレンス編（燕市立図書館）オンライン ⑥10月21日　視覚障害者サービス訪問研修・基礎編（上越市立富田図書館） ⑦11月12日　資料の修理や保存の基礎（田上町地域学習センター） ⑧11月19日　資料の修理や保存の基礎（阿賀町公民館図書室） ⑨11月22日　レフアレンス研修・郷土レフアレンス編（十日町図書館） ⑩12月6日　レフアレンス研修・初級編（小千谷市立図書館） ⑪12月28日　レフアレンス研修・初級編（長岡市立中央図書館）オンライン ⑫3月23日　資料の修理や保存の基礎（長岡工業高等専門学校図書館）	12回	達成率120% 評価（5） 100%以上	オンラインで実施した効果もあり、年度当初の目標を達成した。一方で、オンラインではなかなか「資料の修理や保存の基礎がメイド対面式の実習や実技指導がメイン」のものは、一部延期せざるを得なかつた。次年度以降は、感染拡大時にもできるだけ市町村の要望に応えられるよう更なる工夫を図りながら、目標の達成を目指したい。	A	障害者サービスに関する研修は、各自治体による読書パリアフリー計画の策定に向けた取組みが進められた。障害者サービスの充実度において、各図書館職員の障害者への理解が最も重要なためには、各図書館職員の障害者への理解力のもと、引き続き障害者情報センターや実践的な研修を実施する必要がある。その他に開いてても、市町村の要望を考慮し、工夫を重ねることで充実した研修を期待する。		
県内図書館等職員の人材育成	新潟県視覚障害者情報センターとの連携による障害者サービス研修を新たに開始するとともに、レフアレンス研修のプログラムを図るなど改善に取り組んだ。 ・障害者サービス研修（初級編） ・レフアレンス研修（郷土編） ・資料の修理や保存の基礎	【4】	達成率100% 評価（5） 100%以上	当初目標は年度当初に達成し、研修テーマ・内容等についても好評であった。次年度以降も新潟県視覚障害者サービス研修を基礎にした研修を実施するこことで、訪問研修メニューの多様化を図り、市町村図書館職員のレベルアップに繋げていきたい。	A			

3 県民の生涯にわたる学びへの貢献

- ・定量評価 (5=100%以上 4=90~100% 3=80~90% 2=70~80% 1=70%未満)
- ・総合評価 (A=成果を上げている (4.5以上) 、B=順調に進んでいる (3.5以上3.5未満) 、C=概ね順調に進んでいる (2.5以上3.5未満) 、D=順調に進んでいないとはいえない (1.5以上2.5未満))

項目名	取組概要	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の読書環境の整備	入館者数 【30万人】 ※コロナ禍の影響を考慮	感染症対策下で、出向いての広報が制限される中、ツイッターでの緊急事態宣言下での予約貸出の貸出しの実績は評価される。人館者数の目標は達成されたと見なすことができる一方で、ウイズコロナの時期を具据えて、カフェ（喫茶や就労支援型施設のベンチの販売など）の検討を含めた、資料の利用以外の施設利用についての工夫も必要である。	達成率99% 評価（4） 90～100%				
利用サービスの改善	貸出冊数 【42万冊】 ※コロナ禍の影響を考慮	新しい資料収集方針のもと、より効果的・効率的な選書に取り組むとともに、閲覧室展示では時事的なテーマの展示や他部署との連携展示を行った。また、展示テーマについて講じて説明するためのヒント集（ハスファインダー）を作成し、配布及びホームページに掲載することことで、資料の利用促進を図った。併せて書架内展示や資料の見せ方の工夫など、魅力ある触りに努めた。	達成率109% 評価（5） 100%以上	利用促進の取組と、9月の感染拡大防止に伴う臨時休館の中も、予約貸出サービスを継続したことによる、目標を達成する見込みである。 今後も行政連携展示に重点を置いた取組を進めよう。	A	評価される。	
・利用しやすいレイアウト変更等 ・調査用設（レンズ） ・SNSによる情報発信	レファレンス協同データベース登録件数 【30件】	利用者から寄せられた調査相談内容から郷土に関するテーマなどで登録を行つた。また、調べ方マニュアルも登録することで、間接サービスの向上を図つた。	達成率100% 評価（5） 100%以上	スケジュール通りに作業を進めた結果、登録件数は32件となり、目標を達成する見込みである。	A	高く評価される。	
SNSへの記事掲載回数 【24回】	ツイッターでの情報発信を9月から開始した。独自アカウントを開設し、新たな情報発信に取り組んだ。	達成率271% 評価（5） 100%以上	コロナウイルス感染症拡大による臨時休館等の発信も多かつたため、年度当初の目標を大きく上回った。 次年度以降は、上方修正した指標の達成を目指して、ツイッターの特性に合わせた投稿内容を工夫するとともに、フォロワーによる情報の周知・拡散にも取り組んでいきたい。	A	Twitterでは、展示について細かく情報発信していることを期待する。若者向けの発信を積極的に行なうことを評価する。		

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県民の図書環境の整備 図書に困難のあるサービスの充実 県民へのサービスの充実	・新コーナー設置と資料の充実 ・利用者のニーズに合ったサービスの提供 ・サービス等サービスのPR	サピエ資料の貸出冊数【220点】	・12月にギャラリーで「見て、聴いて、楽しむ！パリアフレーリー読書」展示を実施した。 ・市町村図書館員向けの障害者サービス研修では、サービスの案内を行った。 ・市町村図書館員向けの障害者サービス研修では、サービスの案内を行った。 ・県立障害者サービスを必要としている方々に効率的に情報提供するため、県障害者情報センターと連携協力し、相互PRや音試協力者の研修等を実施した。	233点	達成率100% 評価（5） 100%以上	A サピエ図書館についてのPRは引き続き必要である。		
県民の図書環境の整備 図書推進	・コロナ対応を踏まえたこのまま向けていきの再開・貸出(再掲)		・効果的に換気を行うため、こども図書室の壁に扇風機を設置し、入替え制で入室する方法で10月から開室した。現在は平日の午前9時30分から午後4時までの限定的開室としている。再開かせイベントの再開を延期した。 ・県立高等学陎等への協力アンケート調査を実施した。アンケート結果を踏まえ、物流システムの改善と、利用方法の簡便化を進めている。(再掲)					
県民の図書環境の整備 図書推進	こどもや若い世代の図書推進							
県立図書館職員の研修機会の充実	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽	職員全体会議【2回】	図書点検による休館期間中(6月)、仕事始め(1月)に各1回の <実績> ・6月 認知症サポート一養成講座 ・R4年1月 図書館の自由を学びなおす	2回	達成率100% 評価（5） 100%以上	A 全員受講の機会を確保することは難しかったが、当初の予定どおり2回実施できた。 今後も全体研修の機会を確保して、図書館全体のレベルアップにつなげていきたい。		
県立図書館職員の能力の育成	・研修の受講に注力した一方、発表の機会を充分確保できなかつた。 ①全国図書館大会山梨大会（高齢者サービス） ②全国図書館大会山梨大会（障害者サービス） ③全国公共図書館協議会研究集会・児童青少年部門（感染症下の児童サービス） ④全国公共図書館協議会研究集会サービス・総合経営部門（デジタル・アーカイブの構築と活用法） ⑤新潟県公共図書館中堅職員研修会（常識のカバーを外そくする新たな図書館サービスの実践） ⑥図書館総合展（資料保存）	館内研修における職員の発表回数【10回】	受講した研修について報告し、成果を共有する「伝達研修」を、1月に実施した。 ①全国図書館大会山梨大会（高齢者サービス） ②全国図書館大会山梨大会（障害者サービス） ③全国公共図書館協議会研究集会・児童青少年部門（感染症下の児童サービス） ④全国公共図書館協議会研究集会サービス・総合経営部門（デジタル・アーカイブの構築と活用法） ⑤新潟県公共図書館中堅職員研修会（常識のカバーを外そくする新たな図書館サービスの実践） ⑥図書館総合展（資料保存）	6回	達成率60% 評価（1） 70%未満	E 図書館が自らが設定した目標の達成には不可欠であり、また、計画的な実施により達成が可能である。本目標は「図書館による自己評価（左記）」に記されたような「研修受講による成果が日常業務で実現されし共育する組織による成果を確認し共育する」として設定されたことによるものである。「伝達」のみならず、収集内容についての話題で意見交換するところから、個人の研修成果を職員全体会議で共有し、業務に共有し、業務に反映させるべきである。		

項目名	取組概要	指標・目標値	目標達成のための主な取組（実施状況）	実績	達成率・評価	自己評価	総合評価	協議会意見
県立図書館職員の能力の育成 職員の研修機会の充実	・研修に参加しやすい環境の整備 ・研修成果の共有と自己研鑽 【平均2回】	オンライン研修の増加により、例年より多くの職員が受講することができた。また、職員のスキルアップに向けて、研修の受講機会を一定程度確保することができた。 <実績>	<p>①4月14日 Zoom研修4名</p> <p>②5月19日 ハワーポイント研修1名</p> <p>③6月11日 ジャパンサート連携説明会2名（オンライン）</p> <p>④6月14日 公文書管理活用研修会2名</p> <p>⑤7月8,9日 関東地区公共図書館協議会研究発表大会（オンライン）5名</p> <p>⑥7月15日 情報処理システム所属システム担当者研修1名</p> <p>⑦7月16日 国立国会図書館視覚障害者等用データ送信サービス説明会（オンライン）2名</p> <p>⑧7月20日 子ども読書レベルアップ研修会（阿賀野市）2名（うちオンライン1名）</p> <p>⑨8月27日 著作権セミナー1名</p> <p>⑩9月29日 新潟県公共図書館中堅職員研修会（～10月6日、オンライン）2名</p> <p>⑪10月26日 新潟県学校図書館研究大会1名（オンライン）</p> <p>⑫11月1日～全国図書館総合展2名（オンライン）</p> <p>⑬11月11日～全国図書館山梨大会3名（オンライン）</p> <p>⑭11月25日～全国公共図書館協議会研究集会・児童青少年部門2名（オンライン）</p> <p>⑮11月25日～全国公共図書館協議会研究集会・サービス部門総合・経営部門2名（オンライン）</p> <p>⑯11月30日～12月3日関東甲信越静岡地区図書館地区別研修8名（オンライン）</p> <p>⑰12月3日 2021年度サービス研修会1名（オンライン）</p> <p>⑱1月20, 21日 制作評価に関する統一研修1名（オンライン）</p> <p>⑲1月21日 庁内マイスター講座2名</p> <p>⑳1月26日～情報リテラシー向上セミナー2名（オンライン）</p> <p>㉑1月27日 特別研修「デジタル×地方」1名（オンライン）</p> <p>㉒1月28日 多様な事例に学ぶ！行政・自治体のためのWEB・SNS活用セミナー1名（オンライン）</p> <p>㉓2月9日 国立国会図書館フォーラム「デジタル化及びデジタルアーカイブ構築の現状と未来」1名（オンライン）</p>	平均2.6回	達成率129% 評価(5)	100%以上	A	県立図書館職員（司書）の能力の向上・蓄積は、県内図書館職員全体会に影響することから非常に重要である。また、当初目標を上回ったことと、オンライン環境での設備も整いつつありたため、次年度以降も可能な限り職員の研修機会を確保し、職員の育成と能力向上を図りたい。

図書館協議会による図書館運営全体に対する評価（委員長とりまとめ）

今年度の「とりまとめ」として、以下（1）～（4）を記録に留めるものとする。それぞれの内容に関する将来的な検証等のためにも、広く県民の方々と共有する必要があると考えるためである。

- (1) 「県立図書館の管理・運営のありかた」に関する生涯学習推進課による意見照会について（報告）
- (2) 令和3年度第1回図書館協議会議事録について（報告）
- (3) 図書館協議会の適正な運営について（意見）
- (4) その他（意見）

（1）「県立図書館の管理・運営のありかた」に関する生涯学習推進課による意見照会について（報告）

令和4年3月23日に開催された令和3年度第2回図書館協議会において、図書館協議会委員長の荻原幸子は以下の内容を報告・説明をした。

1. 経緯

- 2021年10月5日

令和3年度第1回新潟県立図書館協議会における「4 その他」として、生涯学習推進課成人教育係 京谷亜祐子係長より、協議会当日に会場で配布された「参考資料」にもとづいた説明があった。

- 2021年10月20日

「新潟県教育庁生涯学習推進課長」より「県立図書館の管理・運営のあり方について（意見照会）」の文書（令和3年10月19日付「教生第155号」）が送付された。回答期限は令和3年11月2日。回答にあたっては、別添資料（第1回図書館協議会で配付）を参考とするようにと明記されていた。

回答様式により、委員氏名を記入したうえで、下記の1～3の項目について、「意見」と「意見の理由」を記入するように、及び、意見のない場合は「意見なし」と記入するように、ということであった。

1 県立図書館の役割・機能について

- ・市町村立図書館等への支援・資料提出【ママ】や情報提供等の直接サービス
- ・資料収集・保存・提供・市町村立図書館との役割分担・レファレンス（調査相談）等

2 県民への情報発信について

3 効果的かつ効率的な図書館運営について

- ・「1」の役割・機能の効果的・効率的な発揮のための方策
- ・施設全体（図書館・生涯学習推進センター・文書館）としての窓口や広報等の一体化
- ・民間能力の更なる活用（指定管理者制度の導入、民間委託範囲の拡大）等

- 2021年11月4日～11月26日

図書館協議会委員の荻原幸子と安田宏図書館長との意見照会に関するメールでのやり取りが、複数回行われた。安田宏図書館長より面談の申し出があり、荻原は「安田宏図書館長に対しては、新潟県立図書館協議会の委員、あるいは、委員長の立場」で、「生涯学習推進課の方に対しては有識者（個人）の立場」で出席するという前提のもとでこれを了承した。安田宏図書館長より交通費（旅費）について、県費による支出の申し出があり、荻原が了承した。また、荻原による「県民である図書館協議会の皆様との情報共有のため」の記録用の録音の申し出に対して、安田宏図書館長が了承した。

- 2021年12月8日

13時30分より、新潟県立図書館 館長室において面談が実施された。

出席者：県立図書館：安田宏館長、小林朝幸副館長、平田ひろみ副館長

生涯学習推進課成人教育係：京谷亜祐子係長、野口副参事

新潟県立図書館協議会 委員長 萩原幸子

当日の記録に基づくと、以下の3点が明らかにされたことになる。

- ・ 生涯学習推進課による意見照会は、「図書館協議会」に対する意見照会ではなく、図書館協議会「委員」への意見照会であり、図書館法第14条に基づくものではない。図書館協議会の制度の“枠組みの外のところで、しかるべき人に個別に意見をお聞きしたい”ということで行ったものである。
- ・ 図書館協議会「委員」が提出した意見は、「新潟県立図書館協議会委員をお務めの〇〇〇〇様からは、このような意見を頂いております」というように、協議会委員の個人名とともに記した意見を、生涯学習推進課における検討の材料にする。
- ・ 図書館協議会委員長の立場から萩原幸子は安田宏図書館長に対して、協議会委員が意見照会の「手続き」を納得し、及び、参考資料の内容について理解するために「協議の機会」が必要であり、図書館協議会で協議をするためには、制度に基づけば図書館長による諮問事項とする必要があると申し出たが、安田宏図書館長は、今回の意見照会に関しては、図書館協議会への「諮問事項」とはしないとのことであった。

- 2022年1月14日

生涯学習推進課成人教育係京谷亜祐子係長より、萩原宛てに「12月8日面談時の後日回答事項について（新潟県）」の文書が送付された。内容は以下の通りである。

- 1 令和3年10月19日付け教生第155号「県立図書館の管理・運営のあり方について（意見照会）」について〔省略〕
- 2 図書館協議会への諮問について
直営か指定管理かという図書館の管理方法に係る事項については、図書館長から諮問し、図書館協議会から意見をいただくことにはなじまないものと考えております。

同日、萩原より下記の文章を返信

「新潟県立図書館協議会委員長の萩原幸子の意見については、全面的に「対応無し」ということで了解しました。以降、ご回答に応じて、こちらも適切に対応させていただきます。」

2. 今回の意見照会の「手続き」に関する萩原幸子（図書館協議会委員）の意見

(1)図書館協議会は、図書館法第14条にもとづき「図書館の運営に関し館長の諮問に応ずる」とともに「図書館の行う図書館奉仕につき、館長に対して意見を述べる」ことを任務とする「機関」である。そして、図書館協議会委員による「協議の機会」として、「新潟県立図書館協議会運営要綱」にもとづき、館長の招集による会議が開催されるものと理解している。今般の意見照会は、館長に「諮問」されていない事項について、図書館協議会委員による「協議の機会」が設定されない状況のもとで、委員「個人」の意見を、新潟県教育庁生涯学習推進課に対して提出するという手続きであった。そして、12月8日の面談において、この意見照会は、図書館法の制度に基づかない手続きを遂行したと説明された。すなわち、今期の図書館協議会委員は、図書館法に基づく図書館協議会の委員の就任を受諾しただけであったにもかかわらず、生

生涯学習推進課からいつの間にか、図書館協議会の制度の枠組みを超えた、県立図書館の管理・運営に関する見直しという重大な局面の検討において「しかるべき人」と位置付けられたことになる。図書館法の制度に基づかない手続きが図書館協議会委員に適用される際には、その明確な理由や必然性が提示される必要があったと考える。

(2)図書館協議会委員には、この意見照会についての「協議の機会」が必要であったと考える。法律上の制度にもとづけば、図書館協議会委員による「協議の機会」が設定されるためには（すなわち、会議での「議事」とするためには）、図書館長による「諮問」が妥当であり、荻原は図書館協議会委員として館長宛てのメールにおいて「10月5日の第1回図書館協議会で「諮問事項」とするべきであった。委員の合意のもとであれば、意見の提出の仕方については今回のような手続きでも構わない、なぜ諮問事項にしなかったのか」と伝え、図書館協議会委員長としては12月8日の面談において「諮問事項とする考えはないのか」と尋ねたが、安田宏館長は「諮問事項としない」ということであった。図書館協議会委員・委員長として「協議の機会が必要であった」と考える最大の理由は、生涯学習推進課から配布された「別添資料」に対して、疑問点が少なくないことによる。例えば、以下の点である。

①「資料2 県立図書館の現状と課題」には、課題（解決しなければならない問題。果たすべき仕事。「デジタル大辞泉」より）の一つに「若手職員へのレファレンススキルの継承や全体のレベルアップが必要」と明記されている。「レファレンススキル」の継承やレベルアップという重大な課題は、ただちに（今年度からでも）取組む必要があると考えるが、「新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～令和5年度）」、あるいは、「運営基本指針を踏まえた令和3年度の主な取組事項」のいずれにおいても明記されていないのはなぜなのかが分からぬ。

②「資料2 県立図書館の現状と課題」には、課題の一つに「4 ICT化への対応 来館せずに利用できるコンテンツの充実が必要」とされているが、令和3年度第1回新潟県立図書館協議会において、富岡企画協力課長から「「非来館型サービスのPR・充実」については、越後佐渡デジタルライブラリーのPRと充実を図っていきたいと思います。電子書籍については情報収集を引き続き行っていますが、現時点では導入を予定していません。」「「音楽ライブラリーのスマホ・タブレット利用の検討」ですが、[中略] 予算全体が縮小されているため、次年度以降も音楽ライブラリーを継続していくかどうかは、慎重に見極めていきたいと思います。」と説明されている。そうであれば、（現行の越後佐渡デジタルライブラリー以外に）どのようなコンテンツの充実を「課題」として想定しているのかが分からぬ。

③「資料4 他県の動向」において、県立長野図書館と鳥取県立図書館だけが直営の県立図書館として取り上げられているのはなぜなのか。意見提出後の12月8日の面談の際に尋ねたところ、「資料費」を選定理由としたことが生涯学習推進課の京谷亜祐子係長より示された。ただし、資料費を着眼点とすることに、どのような意義があるのか分からぬ。また、そもそも新潟県立図書館の管理・運営のあり方に関する意見をまとめる際に、人口規模、地理的状況、財政状況等が全く異なる他県の図書館の動向が、なぜ参考になるのかが分からぬ。

④回答様式において「意見」と「意見の理由」が求められた項目の一つに「2 県民への情報発信について」があるが、「別添資料」のどこにも参考とするべき情報が記されていない。「資料2 県立図書館の現状と課題」にも「課題」とはされていない。この項目については、何を手がかり（参考）にして意見を述べればよいのか分からぬ。

⑤回答様式の「1. 県立図書館の役割・機能について」において「資料提出や情報提供等の直接サービス」と記載されている。「資料提供」という用語は、図書館にとっては極めて基本的、かつ、重要な用語であることは周知の事実である。この用語の「誤字」については、意見照会者の見識が問われるのではないか。（さらに、県内図書館の固有名称についても誤字があったことを付記する。）

少なくとも、図書館協議会委員としての荻原幸子の限りでは、上記についての疑問と疑惑が解消されないまま、かつ、手続きに関して納得できない状態のもとに、「意見」と「意見の理由」を記して提出せざるを得なかった。生涯学習推進課による「県立図書館の管理・運営のあり方について」の検討においては、図書館協議会委員として、できる限りの協力をしたいと考えているが、今般の意見照会に関しては、(1)図書館法の制度に基づかない手続きであることについての、明確な理由や必然性が提示されていない(2)図書館協議会委員に提供された参考資料の内容が適切であったとは判断できない、という2点において至って残念である。

最後に、新潟県立図書館の管理・運営のあり方の見直しについての検討において、「図書館協議会の意見が新潟県教育庁生涯学習推進課に提出された」というような、新潟県民の方々の「誤解」を招くことは回避しなければならないと考える。新潟県教育庁生涯学習推進課に提出されたのは、「図書館協議会委員」の「個人の」意見であること、及び、意見を提出する際に、図書館協議会における「協議の場」は設定されなかつたことを、公式な場において記録に残しておく必要があると考える。

(2) 令和3年度第1回図書館協議会議事録について（報告）

令和4年3月23日に開催された令和3年度第2回図書館協議会において、図書館協議会委員長の荻原幸子は以下の内容を報告・説明をした。

1. 経緯

- 2021年11月20日

新潟県立図書館より、令和3年度第1回新潟県立図書館協議会議事録についての校正依頼があった。荻原幸子（図書館協議会委員）からの、例年通りの議事録ではない点に関する問い合わせに対して、小林朝幸副館長より「図書館協議会委員長 荻原幸子」宛てに下記の返信があった。

2021年11月24日付

「今年度より、本県の他の審議会の例にならい、事務局からの説明については、省略した形で記載することとし、委員の皆様のご発言については、趣旨を損なわないよう留意しながら、あいさつ等の形式的な部分や繰り返しなどを省き、要旨に絞った記述しております。「4 その他」の部分についても、「生涯学習推進課から説明」との表現にしてあります。別添で、修正前のテープ起こしの文章をお送りしますのでご参考になさってください。」

本返信とともに、修正前のテープ起こしの文書ファイルが送付された。

2021年11月25日付

「従来の議事録は、形式的なあいさつや前置き、繰り返しなど、発言趣旨に直接関係のない部分もそのまま記載し、冗長な部分が多く読みづらい議事録となっていたと考えております。そのため、文脈に沿って、発言趣旨に極力影響のないように言い換え（よって「公開性が低下する」とは考えておりません）、議論の推移に関わりのない部分を省略することで、読みやすく、結果としてより伝わりやすい議事録とすることを目指したものです。（読みにくいことが読み手にとってのバリアになることもあります、逆に伝わりやすいことで図書館に対する理解が深まりやすくなるのではないかと思っております）特に、事務局の説明は、資料に沿つたものであり、前回から、議事録と合わせて配布資料も公開することとしたことから、重複を避けるために省略することしました。

本県の他の審議会には、口頭での発言どおりに逐一記載した議事録もありますが、要旨に絞り、事務局の説明等は省略した形で記載している例があり、この方がより伝わりやすい議事録となるのではないかと考え、これらを参考に本協議会の議事録を作成いたしました。」

- 2021年12月5日

(荻原を含む) 図書館協議会委員3名の連名で、安田宏図書館長宛に、「新潟県立図書館協議会の議事録について(意見)」の文書(2021年12月5日付け)を提出した。その内容(抜粋)は以下の通りである。

- (1) 新潟県立図書館協議会の会議は、以下に示す通り、県民の皆様に対して極めて公開性の低い状態で開催されております。[以下省略]
- (2) 新潟県立図書館は、従来の議事録が「冗長な部分が多く読みづらい議事録となっていた」と判断したことですが、「読みづらい」ものであるか否かは、ひとえに新潟県民の方々が判断なさることです。たとえ図書館が「図書館に対する理解が深まりやすくなるのではないかと思っている」としても、今般の図書館による変更が「県民の方の理解が深まりやすくなる」と判断できる根拠はありません。また、昨年度までと同様、今年度に至っても、新潟県民や協議会委員の方々から「読みづらい」というご意見があったということを、私どもは聞いておりません。
- (3) そもそも図書館協議会は、利用者及び住民の要望を十分反映した図書館の運営がなされるよう設置された機関です。新潟県立図書館長の招集により開催された協議の場における協議会委員と図書館職員の対話(発言)について、招集側である新潟県立図書館自身が「形式的なあいさつや前置き、繰り返しなど、発言趣旨に直接関係のない部分」であるか否かを判断したり、「文脈に沿って、発言趣旨に極力影響のないように言い換え、議論の推移に関わりのない部分を省略する」という行為を、私どもは断じて許容することはできません。なぜならば、新潟県立図書館にとって都合の良い発言ばかりが議事録に記録され、都合の悪い発言は省略されるという行為の温床となり得るからです。少なくとも、新潟県民の方々の誤解や不信感を招きかねない事態は、極力回避しなければなりません。

- 2021年10月5日に開催された「令和3年度第1回図書館協議会議事録」は、2022年3月6日13時に、新潟県立図書館のWebサイトで公開された。

https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/?page_id=291

2. 図書館議事録に関する荻原幸子(図書館協議会委員)の意見

第2回図書館協議会では上記の経緯に関して以下の補足説明をした。

- 2021年12月5日の意見書の提出に至った背景には、11月24日付で「ご参考になさってください」として小林朝幸副館長から送付されたテープ起こしの文書ファイルと、11月20日付の校正依頼において添付された議事録とを照合すると、荻原幸子の発言が事務局によって大幅に削除されていることが分かったことがある。したがって、問題は議事録の体裁というよりも、会議の招集者である図書館長のもとにある事務局が、協議会委員の「発言を削除」したり、「発言を言い換えていた」ということであり、そうしたことは「あってはならない」と考えた。
- 第2回以降の議事録について、録音した音源を文字に起こした文書ファイルが「そのままの状態」で校正用に委員に送付され、各委員も事務局も、それぞれの発言について責任をもって校正した内容が「そのまま」議事録として公開されることについて、図書館長及び事務局が同意していると理解している。

- ・ 加えて、上記のようなプロセスであれば、事務局が委員の発言の趣旨を考えてどのように言い換えるかを考えたり、冗長かどうかを判断したりする必要はなく、迅速な議事録の公開されることが期待される。2021年10月5日に開催された第1回図書館協議会の議事録が、2022年3月6日に公開されるという事態は、あまりにも遅すぎると判断するためである。

(3) 図書館協議会の適正な運営について（意見）

今年度の図書館協議会の運営に関して、以下の3点について適切ではなかったと判断する。

- ・ 上記の通り、第1回図書館協議会の議事録は公開に至るまで5か月もの歳月を要した。この事態は、県民への図書館協議会に関する公開性という観点から問題であり、迅速に公開するように改善すべきである。
- ・ 第2回図書館協議会は、傍聴者に対して資料が配布されない状態で開始され、傍聴者は、議事に入る前の図書館協議会委員長の報告、及び、「議事1」についての、いずれも資料にもとづく説明を、資料がないまま聞かざるを得ない状況であった。安田宏図書館長によれば、「従前の例により、お配りしてなかった」とのことである。すなわち、今年度第2回の図書館協議会の限りではなかったことになる。管見の限りでも他の自治体で、傍聴者に資料が配布されないということはない。傍聴者への資料配布について、改善を要する。
- ・ 「新潟県立図書館協議会運営要綱」第7条には、「協議会の開催場所、日時及び附議すべき案件は、館長が開催10日前までに通知しなければならない。ただし、緊急を要する場合には、この限りでない。」とされている。2022年3月23日に開催された第2回図書館協議会について、すでに10日前を過ぎた3月15日付で事務局に問い合わせたところ、同日午後に「教図第223号」の文書が手元に届くという事態であった。協議会委員の図書館長に対する信頼確保のためにも、要綱の順守は不可欠である。

(4) その他（意見）

以下について要望する。

- ・ 現行の「新潟県立図書館運営基本指針（令和3年度～5年度）」は、コロナ禍以前に策定したものである。その後のコロナ禍での経験を踏まえて、「思い切って一歩踏み出すような」新規の取組みの検討と実施が求められる。
- ・ 今年度第2回図書館協議会では、「新潟県立図書館 利用者アンケート集計結果」及び「市町村立図書館等への意見照会結果」が、「一義的主体」として調査を実施した生涯学習推進課より報告された。それぞれの内容に関しては、利用者の生きた声を聴取することにより、県立図書館が果たすべき役割がより一層明確になったと考える。求められる図書館像を目指して図書館運営に努めていただきたい。
- ・ 「新潟県総合計画」（平成31年3月）では「Ⅲ 県民一人一人が学び、成長し、活躍できる新潟」において、「県立図書館における貸出冊数の順調な増加や、学習機会の提供、地域の教育力を活かした学校支援活動などで一定の成果が見られるものの、県全体の学習講座の受講者数は伸び悩んでいる。」と記されている。県立図書館が県民の学習拠点となっていることを評価するとともに、より発展させるための仕組みを考える必要がある。
- ・ 図書館協議会による評価の意義は、図書館が「良かれ」と思って行っている運営計画が、図書館にとって「都合の良い」計画ではないことを多くの人の目で確認することにあると考える。新潟県全地域・全県民の図書館としての役割を果たしていくことを期待する。

休館日

- ◆月曜日（その日が祝日に当たるときは、開館。）
- ◆年末年始
- ◆蔵書点検期間

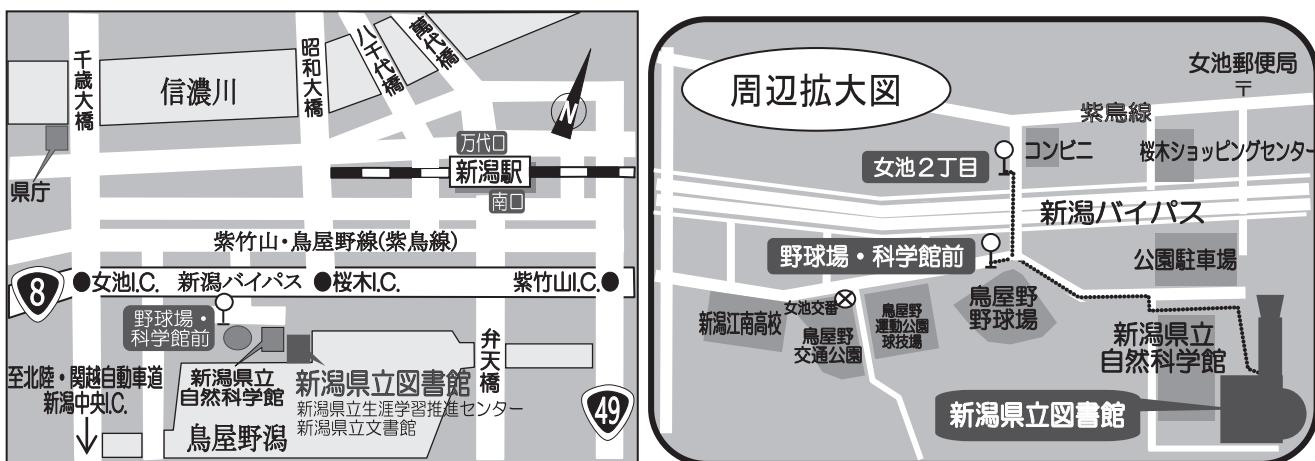
開館時間

- ◆火～金曜日
午前9時30分～午後7時
- ◆土・日曜、祝日
午前9時30分～午後5時

貸出冊数と期間

ひとり10点（うちCDは2点）、2週間

地図



交通案内

◆JR新潟駅（南口）から

バス【女池愛宕】行き又は【江南高校経由市民病院】行きに乗車20～25分、

【野球場・科学館前】で下車徒歩8分。

*バスは、朝夕の通勤時間帯を除き、30分に1本程度です。

*新潟交通ホームページで、時刻表をご覧になれます。

<http://www.niigata-kotsu.co.jp/>

タクシー 新潟駅南口から15分程度です。

◆駐車場（無料）

公園駐車場をご利用ください。

*県立図書館の正面玄関前に「おもいやり駐車場区画」と「特定者専用駐車場」があります。

令和 4 年度
新潟県立図書館年報

令和 4 年 8 月 31 日 発行

発 行 新潟県立図書館

〒950-8602 新潟市中央区女池南3丁目1番2号

TEL 025-284-6001

FAX 025-284-6832

ホームページアドレス <https://www.pref-lib.niigata.niigata.jp/>

